

● 会員の声



様々な分野で豊富な社会経験をもつ会員の一人一人がMUAの原動力です。

## MUA創設時の会員 創立40年記念誌によせて



前会長・顧問  
高井 光子

1981年10月の創立後、初代会長丹下健三先生10年間、2代目会長三輪公忠先生18年間、お二人の優れたリーダーシップの下、会員の企画運営によって、国際都市港区ならではの諸事業が展開され、港区のご支援を得て、しっかりと根を張りました。

2010年4月、在籍年数の長い私が3代目会長をお引受けいたし、6年間務めさせて頂きました。実は1年後の30周年記念事業（パーティ、諸々の催し、記念誌発行）の準備に取りかかる必要のためもあったのですが、女性を前に押し出そうとする時代の流れに乗ったからとも言えましょうか。

会長就任後、これまでの継続事業に加えて、2つの新事業を始めました。1つは、長門芳子理事のご協力を得て、「UNESCO ユースフォーラム in みなと」の開催。楽しく6年間継続できました。宇都宮から留学生十数名（宇都宮大学、作新学院大学、宇都宮共和大学）に港区に来

て頂き、東京側からは、港ユ協と新宿ユ協の大学生、慶応義塾大学ユネスコクラブ、玉川大学ユネスコクラブ、明治学院大学渋谷ゼミ、他の大学生から参加頂いて、自国紹介やゲームなどで交流するもの。双方の学生さん達から「意義深く、楽しい機会だった」と好評を頂きました。

2つ目は、ユネスコ活動に長い歴史を持つ都立三田高等学校ユネスコ委員会の30数名の委員の方がたと、毎年、「ユネスコ」、「ユネスコ活動」、「戦争と平和」などのテーマで話合う時間を持てたこと。皆さんから頼もしいご意見や感想を伺うことができ、明るい未来を感じました。父がシベリア抑留中に戦病死したことなどを少々心配しながら話したのですが、真面目に聞いて下さる様子を目の当りにし、こういう時間を作って下さった引率の藤本由夏先生、川口直弘先生に感謝いたしました。

2016年4月、永野博会長にバトンタッチ出来てホッといたしました。長年ユネスコ活動を続けてこられたこと、会長を体験させて頂けた幸運に感謝いたしながら、協会のみますますの発展を祈念いたしております。



副会長  
菊地 賢介

港ユネスコ協会の設立から40周年を心からお祝い申し上げます。

1981年、白金プリンスホテル迎賓館での設立総会が行われてから40年を迎えることが出来ました。設立時の社会背景を覗いてみると福井健一さんがノーベル化学賞、チャールズ皇太子 ダイアナ妃の婚礼 ロナルドレーガン大統領就任等話題を呼んだ年でした。

港ユネスコ協会は丹下健三会長の下、国際理解講座や国際交流・会員相互の交流などを行い、1982年5月にはディプロマツツ・ランチョン・レクチャーで高等弁務官

を務めていらっしゃいました緒方貞子氏に講演して頂き、「時代と地域に根ざした国際文化交流は人々の心に平和と連帯を育む重要な活動」とのお話を伺い大変印象に残ったことが昨日のように思われます。

これまでの40年間の継続を顧みると初代丹下健三会長、2代三輪公忠会長、3代高井光子会長のリーダーシップに感謝するとともに、各年度に携わられた役員、会員一人一人の皆様の活動によるところです。

40年に至る協会運営については山あり谷ありで平坦な道ばかりではなく、永年協会の活動を陰で支えて頂いた各方面の多くの皆様、また歴代区長はじめ社会教育委員会のお力添えには心から感謝申し上げます。



理事  
清水 軍治

港ユネスコ協会の設立から 港ユネスコ協会創立40周年お祝い申し上げます。

私の家の隣にある港区役所7階の社会教育課の方が、「国際交流の会を作ることが望ましい」と文部省から通達が各区に出された。港区としても人材を集めたいので「お前も手伝ってくれ」と云われて応募しました。しかし、集まった人材は私より

素晴らしい人ばかりで、私が泳げる池なのか？と感じました。

日帰りバス旅行をして会員同士の親睦のためのサロンの企画をしたり、創立30周年には「歌と踊りで世界をめぐる」（2011・11/19 高輪区民センターホール）で、8か国の皆さんとお祝いをしました。

都立三田高校ユネスコ委員会の皆さんに、私が小学生時代に歌われた軍歌をアコーディオンを弾きながら歌ってから戦争体験を話しました。後日25人の生徒さんから感想文を頂き、好評だった事に安堵しました。何となく私なりに泳げる池になりました。

50年100年と益々すばらしいMUAになります事を切に祈っております。

2022.2/23 で90歳になりました。



●常任理事  
みなと区民まつり等委員会委員長  
**磯部豊子**

2021年10月はじめに東京芸大美術館で「みろくー終わりの彼方 弥勒の世界ー」展があり、タリバンに破壊されたバーミヤンK窟壁画仏座像の、想定復元を主にした展示を見に行った。

この日、運よく前田耕作先生のギャラリーガイドを聞くことができた。前田先生には2016年の国際理解講演会で「アフガニスタンの世界遺産ーバーミヤンの昔と今ー」と題した講演をいただいている。その内容は2001年に破壊された東西の大仏や、海外へ流出していた文化財を、一部は芸大で修復し2016年にカブール美術館へ戻したことなどであった。

その当時、その文化財を戻すかどうか議論がなされていた。今また、不安定になっているアフガニスタンで、カブール美術館の前にはタリバン兵が立っているそうだ。先生は、文化財がどうなっているか気にかけておられた。

バーミヤンの大仏が破壊される映像を見るたびに悲しい思いをする。それぞれの異なる文化を認め合い、少なくとも破壊しない方向に向かってほしいと思う。



●理事  
ラテンアメリカ国際文化交流協会  
会員  
**今村孝子**

ユネスコの理念である「平和の 砦を築いていこう」とするさまざまな取り組みは、高度成長により豊かになり外国公館が65にもなった港区では、数々の学ぶ機会が提供され、また参加する機会が与えられてきました。

何か役に立ちたいという社会参加を実現したいと考えておりましたが、家族との生活を両立させていくときに、個人の力の限界を実感することもありました。しかし、様々な活動に協力していくことの楽しさ、多くの人々の知己を得るといふ無二の体験をすることができ喜びをおぼえました。

世界は今新型コロナウイルス感染症によってさまざまな人的交流も滞りがちです。しかも平和な時代を熱望するのに、現実には欲望が先行し、無理解で不寛容な世界が広がっているように見えます。

そんな中でも、私たちは平和への願いを渴望しなけ

ればなりません。Think globally, act locally すぐに実現できなくても身近なことから始めたらと、フィリピンのミンダナオ子ども図書館の活動に賛同し、ミンダナオの子供が大学を卒業するまで支援することができたのは特別な経験でした。当協会のコーアクション活動の一つとして小さい力を結集、少しずつ心の中に平和の砦を築いていける活動をしてまいります。

港ユネスコ協会の考え方がよりよく理解され、正しく広がっていくことができますようにと祈りながら。

「ミンダナオ子ども図書館」で検索。生活支援物資もお届けしています。



●会員開発委員会  
**宇都宮和美**

港ユネスコ協会40周年お目出とうございます。

港区情報公開委員会で同席した今は亡き見上常任理事の推薦で入会し早30年、港区に生まれ育ち還暦を迎えた私にとって港区は我が庭の如く。入会当時はBulletin作成の広報部に所属し夜間退出になると、慈恵医大に隣接した当時の事務局の隣からもしかして白骨が転がっていたかもとゾクとした経験も今では懐かしい思い出です。

新橋に移転してからは、春の総会・秋のバルーンフェスタ。増上寺港区民祭り・大使館訪問と数々のイベント参加お手伝いも数々の思い出となりました。

港ユネスコ協会は、港区の国際化に貢献しました。そして港区は国際都市へと昇格しました。

今後もこの「ユネスコ精神」に誇りを持ち、更なる発展に貢献し続けよう。40周年バンザイ!



**私の異文化交流**  
●副会長  
**奥村和子**

港ユネスコ協会は、設立に携わった素晴らしい方々のパワーが、ユネスコ協会の理念に基づき多くのご協力と会員のボランティア活動により継続され、創立40周年を迎えられました。心よりお祝いを申し上げます。

国際学術文化委員会では、様々な分野(例えば縄文文化やSDGs迄)の知識を学ぶことが出来ました。昨今

のコロナ禍の為にZOOM配信を試み、通常は港区民及び在勤の参加対象が、北海道から九州の方々に拡がり、港ユネスコ協会の知名度も高まりました。時代の流れで、ホームページの配信もスタートさせた効果でもあります。

世界の家庭料理委員会では、世界各国の先人の知恵と文化から継承されたお料理を通して各講師方の強い愛国心を肌で感じられます。同じ素材でも料理法や調味料により、試食の段階でお国をイメージできます。まさに異文化交流を舌と目で感じる瞬間です。大使館や外国の方が多く存在する港区では、日本文化のご紹介も重要な事です。茶の湯・盆栽・盆石・書道・風揚げ等等を広げつつあります。

これからの課題は若い世代へと繋げ、IT社会にこそ必要な草の根活動を通して、異文化交流を更に深め50周年へと継承させて頂きたい。



●みなと区民まつり等委員会  
副委員長

北岡 修

港ユネスコ協会のきのう、きょう、あした。

港ユネスコ協会創立15周年記念誌(1981~1997)、今を見てもとてもいいです。ユネスコとは「教育、科学、文化、コミュニケーションを通じて各国民の協力をすすめる、世界の平和と人類共通の福祉に貢献する」という目的で、全世界にわたって広範囲の事業を行っています。「戦争は人の心の中に生まれるものであるから、人の心の中に、平和のとりでを築かなければならない」という有名なことばで始まるユネスコ憲章に、ユネスコの目的は、はっきりと示されています。心の中に平和の守りを固めよう。教育、科学、文化の力を通して平和の発展に勤めよう。すべての人間の尊厳を重んじよう。民族間の疑惑と不信を除こう。世界を友愛と信頼のきずなで結ぼう。つぎの時代に向って1歩1歩あゆんでいく。

MUA40

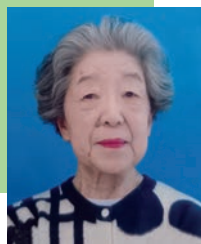


●常任理事  
会員開発委員会委員長

小林敬幸

私の港ユネスコ協会との出会いは、2013年のドナルド・キーンさんの講演会に参加したことから始まりました。その後、事務局を訪ねて、当時の富田晴雄局長さん、葛西章江さんとの出会いで一気に引き込まれ、友金守さん、高井光子さん(当時会長)、永井美智子さん、そして多くの皆さまの温かい導きで「会員開発委員会」の要職に携わらせて頂き今日を迎えました。40年の中の約10年の経験は、多くの方々との出会いがあり、自らの人生に大きな糧を頂けたと喜びを感じています。

このコロナ禍の中、講演会ではZoom配信にて視聴参加者が全国に広がったことは一つの成果でした。一方、サロンの雰囲気や親睦を深める会も構築し「新入会員」を迎える体制を構築していきたく思います。これからの10年に向けて新たな「芽」が吹き出るよう「新たなMUA」を皆さまとともに築いていきたく思っています。



私と港ユネスコ協会  
との40年間の歩み

●理事  
世界の料理委員会

鈴木明美

港ユネスコ協会が1981年に創立し、今年2021年に40周年を迎えること、誠に悦ばしいことと存じます。私は、この長い歴史のほとんどに関わり、改めて感謝の気持ちです。

今日の時代の流れの速さから考えると、40年前の状況はかなり違うとは思いますが、初期、数々企画したことは、かなり「アカデミック」な事だったと思います。

先輩方々のお骨折りで、承諾して下さった講師をお迎えして開催した「講演会」「料理教室」などは勿論、満員、好評でした。

参加した私は、メンバーの方々、ご縁を得た講師の方々から多岐多様な考え方を学ばせていただいたと思っております。

外国の味文化を紹介する場合、「お料理」は人間共通のもので、「切り方」などお国独特のやり方はあっても、すぐに参加者一体で楽しんで出来る作業です。味付



けの違いを知るのも楽しいことです。

準備の大変さもありました。今日のように、外国の材料を直ぐ日本で整えなかった頃には、珍しい材料を数件のお店に探し回りました。講師の方がご好意でお国から取り寄せたり、わざわざ帰国して買って来てくださったりもして、お国の食の雰囲気を感じさせて下さいました。その過程を見聞きしたことは、今、貴重な体験だったと思います。

当協会の歩みも年々変わって行くことでしょう。継続の意味の大変さを感じながら、良い方向に大きく活躍されて行くことを願っております。 感謝



● 常任理事  
日本語スピーチコンテスト委員会  
委員長  
語学研修委員会委員長

### 田川純子

港ユネスコ協会が40周年を迎えられたこと心よりお慶びを申し

上げます。私のMUAとの出会いは「あっ、捨てないで」から始まりました。日本語スピーチコンテスト参加者募集のために委員会を送ったであろうパンフレットがまさに「パンフはゴミ」とばかりに、捨てられそうになっていたのです。外国人に日本語を教えていた私は「これだ!」と思いました。生徒達に日本語学習のインセンティブとしてコンテスト参加を促そう、と思いました。

あれから、3年沢山の学習者にコンテストの参加を勧めてきて、そして、参加してもらいました。日本語スピーチコンテストは改めて私たちの国、「日本」を通して参加者自身の自国を見つめ直す良い機会となりました。また、「初めて外国語で原稿を書く」という経験をする人がほとんどですので、学習済みの表現や語彙を使うのに良い練習となりました。港ユネスコ協会の活動がさらなる飛躍を遂げられますよう祈念いたします。



● 監事  
広報・インターネット委員会  
棚橋征一

早いものでMUAに入会したのは四半世紀以上前になります。

当時、勤務先企業の米国子会社出向から帰国したばかりで、現地で3年間やってきて充実した体験ができたロータリークラブに日本でも入会しようかなと思案中でした。生憎、様々な制約条件があってこれを諦め、偶々、会社の先輩でありMUA会員であった友金さんから勧められて入会した次第です。

それ以来、一貫して季刊会報の編集に携わってきました。当初は英文版に専念していましたが、その後、和文版も分担しています。当協会の複数の委員会が年間を通じて実施する活動は実に多様です。これらを記事にまとめて発行する過程で、協会全体の動きを横断的に理解することができ、会員の皆さんがユネスコ理念の下に展開している草の根活動の臨場感を共有できて大変有益です。

これからも、MUAが開催する異文化理解や日本の伝統文化紹介などのプログラムを楽しみながら、「一隅を照らす」気持ちで活動を継続したいと願っております。

この機会にMUAと並行して参画してきた姉妹都市交流のボランティア活動についても、紹介させていただきます。

前述のとおり、1994年秋に3年間の米国子会社勤務から帰国したあと、以前から関心のあった国際交流分野のボランティア活動に参加しようと考えた結果、会社がある港区の港ユネスコ協会に加えて、自宅のある日野市の姉妹都市協会に入りました。日野市に転居する前に10年ほど住んだ東村山市が米国ミズーリ州のインディペンデンス市と姉妹都市関係にあったので、その交流活動に参加していましたが、元々は戦後、米国のアイゼンハワー大統領の平和構築の提唱から始まったこの国際交流の意義と楽しさを実感していました。

日野市は1963年に米国カリフォルニア州レッドランズ市(ロスアンゼルス市の東部郊外)と姉妹都市提携を結んだ後、1986年から高校生グループの相互派遣を開始しています。米国からは毎回、10名程度が来日しますが、協会の仲間と協力して、極力、各人の希望に合ったホストファミリーをマッチングさせ、活動プランを策定して、楽しく有意義な滞在となるよう知恵をしばっています。

米国の高校生達と直に触れることで、日本のマンガやアニメにどれだけ熱中しているか等が伝わってきます。

逆に日野市から高校生グループを派遣する際には、

事前に米国やレッドランズ市に関するオリエンテーションや簡単な英会話レッスンを実施しています。2週間ほどの楽しかった米国でのホームステイを終えて帰国した若者たちの頭の中は、現地での異文化体験が一杯。どれだけ刺激的で有意義な経験をしたかを語ってくれます。数年前に、永年、若者の指導に当たったことが評価されて市民表彰を頂いたのは望外の榮譽で、協会の仲間やレッドランズ側関係者の一致協力を代表して受けたものと、深く感謝した次第です。

港ユネスコ協会も日野市の姉妹都市協会も、草の根レベルの異文化相互理解を促進する活動を通じて平和構築を目ざしている点は同じです。これからも気力体力がつづく間は継続したいと願っております。



●副会長  
田部揆一郎

港ユネスコ協会40周年記念、誠におめでとうございます。

創立以来、多くの方々のご尽力により、ユネスコが重要視している国際理解、教育、科学、文化などのテーマに沿って、

いろいろなイベントが行われてまいりました。そのご尽力に対し、改めて深く敬意を表します。

これからも、それぞれのイベントを通じて、多くの人たちがこれらのテーマへの理解を深め、交流が増え、本会がますます発展していきますことを祈っております。そのために、私も微力ながら、少しでも貢献出来ることを願っております。



●坐禅体験委員会  
丹崎朋子

「ボランティアだから…」とのお誘いに、深く考えることなく会員になってあっという間に2年が過ぎました。

みなとユネスコ協会の本部のある生涯学習センターをほかの活動で利用していて親近感があったという単純な理由で。みなとユネスコ協会という組織のことも、活動内容もよく知らないままにいろいろな講演会などに参加していくうちに、会員の皆様の活動や熱い思いを知り、

とても刺激を受けています。そして、まだまだ未知の世界は限りなく、学ぶこと、理解していきたいことは沢山あるとも感じています。

世界の平和を目指す多様なユネスコの活動を通して、単純に情報に流されることなく自分の耳で聞き、目で見て確かめ、新しい驚きに心動かされ心のエネルギーを満たしていくことができたらいいと思っています。

年齢とともに固くなる頭をやわらかに、しなやかに!と願いつつ。



## 包容力のある 港ユネスコ協会に 支えられて

●理事  
港区議会議員  
中前由紀

思い返すと港ユネスコ協会に入会したのは20年以上も前のことです。いつの間にそんな年月がと我ながら驚きますが、長く続けることができたのは自分のペースで関わることを許してくれた会の皆さんのおかげだと心からそう思います。

京都で生まれ育ち、仙台の大学を卒業し、就職で初めて東京に来て、知り合いの少ない東京で友達を作ろうとしていた頃、知り合いの紹介で港ユネスコ協会の何かのイベントに参加したのがきっかけでした。ユネスコらしく外国人も多い和気藹々とした雰囲気が楽しかったです。

港ユネスコ協会では会員になると積極的にイベント情報が送られてきたり、会員価格で料理教室に参加できたり様々な特典があります。一会員としていろいろなイベントに参加するだけでもよし、さらに会を支える各種委員会に所属するもよしです。

学術的な講座やシンポジウムなど格調高いもの、坐禅や盆栽など日本文化の体験、世界のお料理教室、日本語スピーチコンテストなど、多彩で楽しい企画が続々と開催されていて、少しでも多くの人に港ユネスコ協会の魅力を知ってもらおうべく、私にできることとして広報の後方支援に一肌脱ぎたいと思っています。



## 港ユネスコ協会の 40周年に寄せて

●理事

永井美智子

港ユネスコ協会の創立40周年を、心からお祝い申し上げます。協会とのご縁は、亡夫永井道雄が講演にお招きいただいたのが始まりだったように思います。その後、私は協会の活動に参加させていただくようになり、今日にいたっております。

協会の様々な文化交流活動の折には、いつもメンバーの方々が熱心に運営の仕事をして支えていらっしゃいますが、私も、微力ながらその一員として楽しく働かせていただき、その都度、皆さまのエネルギーを分けていただくことができました。

この間、皆さまと一緒に青山の国際連合大学を見学したこと、また、夫の友人の故ドナルド・キーン先生に講演をしていただいたことなど、数々の懐かしく貴重な思い出がございます。港区という外国との接点の多い地域で、多くの方々が参加される、開かれた草の根の国際交流の場である港ユネスコ協会が、この40周年を一里塚として次世代の方々に引き継がれ、今後ますます発展し、長く歴史を刻んで行かれますことを願ってやみません。



## ボランティア活動

●副会長

平方一代

ボランティア活動とは「自分のしたいという意志が大切で、喜んでする活動」という事です。ボランティア活動に参加することはメリットがあり、人間関係が広がり様々な文化が学べる事などがあります。「楽しく」「無理のない」「負担にならない」活動である事が重要だと考えます。

例えば、「駅で階段の上り下りで困っている人を助ける」「電車で体の不自由な人に席を譲る」など身の回りにいる身近な自分以外の人々の為になる小さな行為の積み重ねの結果、地域、日本、そして世界を豊かにしていく事につながっていくのではないのでしょうか。

2015年の調査によりますと、日本の10歳以上の国民でボランティア活動をしている割合は「26%」と言われま

す。世界一の高さを誇る米国は41.9%です。

港ユネスコ協会は2021年10月、創立40周年を迎えました。かつては会員数200名以上でしたが、現在100名を切ってしまいました。ボランティア活動に参加する方の減少や高齢化は、どちらの団体でも見られます。なぜボランティアに参加しないのかとの理由の一位、「参加する時間がない」二位「ボランティアに関する十分な情報がない」となっています。

10月に開催いたしました「日本の伝統文化 盆石/実演と体験」の参加者の皆様に会員誘致をしましてところ数人の方から「港ユネスコ協会を知らない。活動を知らない」とのお声をいただきました。恥ずかしいことに「知られている」との思い込みがあった事を反省した次第です。

人はボランティア活動をすると、ストレスを消し多幸感を与えてくれるオキシシンが分泌されると言われます。人生100年時代、多様な生き方がありますが、1人でも多くの仲間づくりを心がけてまいりたいと思います。



●世界の料理委員会委員長

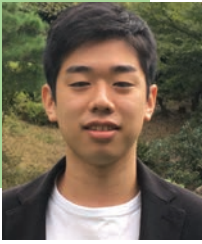
古市容子

港ユネスコ協会40周年記念、誠におめでとうございます。

創立以来、多くの方々のご尽力により、ユネスコが重要視している国際理解、教育、科学、文化などのテーマに沿って、いろいろなイベントが行われてまいりました。そのご尽力に対し、改めて深く敬意を表します。これからも、それぞれのイベントを通じて、多くの人たちがこれらのテーマへの理解を深め、交流が増え、本会がますます発展していきますことを祈っております。そのために、私も微力ながら、少しでも貢献出来ることを願っております。







●ユース委員会委員長  
慶應義塾大学ユネスコクラブ  
松本謙梓

私は大学でのクラブ活動を通じて港ユネスコ協会でのイベントに参加させていただいたことが様々な問題について考えるきっかけとなりました。東京の河川を巡るクルーズに参加した際には東京湾周辺の生態系や自然環境について考えるきっかけとなりました。この時に初めて都心の中にも数えきれないほど多くの生物が住み、生態系の保存のために多くの活動が行われていることを知りました。環境についてそれまで深く考えたことはありませんでしたが、その先に生物の命があることを目にしたことで環境に対しての普段の行動を改めて考え直す機会になりました。

また、その他のイベントに参加させていただきましたがその中で考えた一つ一つのことが今の自分を作っていると思います。

コロナ禍の影響などもあり、今はこういったイベントに参加することは減りましたが、その分現在では所属するゼミでの活動に励んでいます。私が参加するゼミでのプロジェクトではまだまだ消費者に届いてない価値のある食材についてもっと多くの人に知ってもらおうという活動を行っています。具体的には静岡県三島市の三島野菜、東京都八王子市の八王子パッションフルーツの認知度向上とブランド確立を目指しています。

港ユネスコ協会でさせていただいた経験が私の関心を広げ、現在のこういった活動にも繋がっています。これまでに触れることのなかった文化を知る機会を与え、知見を広げてくださった港ユネスコ協会の関係者や活動に感謝しています。



今こそ若者に  
ユネスコ活動を  
推奨したい  
●理事  
峰尾茂克

IT化が進み、生活は便利になる一方、人として大切なものが失われているように感じているのは、私だけであろうか？私が港ユネスコ協会に入会したのは、今から30年程前のことである。

入会した当時、私はユース活動委員会に所属し、委

員長として様々な活動に携わった。1992年韓国で開催された『INTERNATIONAL YOUTH FORUM』に参加し、1997年日本ユネスコ協会連盟主催で行われた『民間ユネスコ運動発祥50周年』グローバル・アクション21においては実行委員長も務めた。

今思うと、私がユネスコ活動を通じて得たものは非常に大きいと感じている。

それは様々な経験や世代間を越えた交流、諸外国の人々とのふれあいである。

『相互理解』で大切なことは、直接人と触れ合い話すことである。残念なことにコロナは、人と人との距離を広げてしまった。このような世の中だからこそ、真の国際交流が必要だと考える。若者には、是非ユネスコ活動に触れていただきたい。



●副会長  
宮下ゆかり

夏の暑さと湿度の高さが年々厳しくなっているように思うのは、地球温暖化だけでなく、自分が年齢を重ねているせいも確実にある。

世の中にはあれこれ問題が山積しているが、愚痴を言うだけ、嘆くだけではつまらない。「戦いのない平和な世界」という崇高な理想を掲げるユネスコ活動は、遠くの明かりを見つめて進む前向きな道程だと思う。

最近嬉しかった私のニュース：(1)コロナ対策としてのワクチン接種を2回済ませることが出来た。(2)東京2020五輪大会での選手の活躍。賛否両論で複雑な思いもある中、テレビ放映から目が離せなかった。とりわけスケボーやサーフィンなど新しいスポーツの躍動感！(3)東京2020パラリンピックにボランティアとして参加。選手村のビル風が強烈だった一日目、マスクを押さえつつ若い人たちの後を追った。(4)ベランダの朝顔が美しい花を咲かせた。(5)小学生の孫は足が速いらしい。鈍足だった私はなぜか嬉しい。

MIA40





## アフガニスタン

●理事  
森村商事株式会社相談役  
森村俊介

アフガニスタンもシルクロードの中心地。昔、三蔵法師もここを抜けインドへ行き、マルコ・ポーロもここを通りました。海はなく不毛の岩砂漠ばかりで貧しい国ですが、なぜか訪れた日本人はアフガンに引きつけられ、非常に感銘をうけます。私のその例にもれませんでした。物価が安く気候も涼しい他に、何よりも素朴で、日本と全く違うことが起こるからです。

まず愛想のよいアフガン人は全員そっくりの服装、編んだアフガン帽を頭にのせ、重たそうで暑苦しい汚れた服を着ています。(中略)顔を洗うのも、洗濯も、トイレも川というも変わってます。女の人が黒いチャドルを被り家からあまり出て来なかったり、アラビアの聖地メッカに向って一日八回もお祈りしたりするのは、イスラム教の強い影響でしょう。(中略)

アフガンのハイライトは何と言っても、首都カブールから五十三メートルの大仏跡のあるパーミアンの緑の谷間を経て、世界で一番美しい湖バンダーミール(私はそう信じている)へ行く旅でしょう。途中の道路は山の中へ入り、道なき道を登ったり降りたりジェットコースターの気分を何回も味わえ、景色も変化に富み、世界で最も面白い自動車の旅と言っても言い過ぎではないでしょう。(後略、「続・世界100カ国訪問記」)



●国際学術文化委員会  
山田祐子

学生時代から国境なき医師団やユニセフのような国際交流のお手伝いをすることが夢で細川護熙元首相夫人が立ち上げた「世界の子どもたちにワクチンを」の活動を手伝い、中国、インド、ミャンマーを回りました。

18年前から杉並ユネスコ協会に入り事業も企画しましたが、「ユネスコの本当の目的は何であろうか?」との疑問を持つようになった頃、水戸での関東ブロック大会で聞いた「寺子屋運動を進める目的は識字率を上げることにより他国の文化を理解することにある」の言葉が心に残り、世界遺産委員会でも謳われている「異文化

理解による平和構築」、これこそがユネスコ活動と考えるようになりました。

都内で最も多くの大使館があり国際交流事業が盛んな港ユネスコ協会。この2年間で「ギリシャの歴史と世界遺産」、「海洋科学とSDGs」、「イタリアの建築文化」、「レコンキスタ時代の世界遺産」、などを経験させて頂き、心から感謝しています。



## アドリア海の風 山本俊介

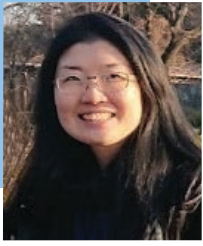
1995年に銀座の大蔵画廊でスケッチ画の個展を催したのが、私の個展のはじまりです。

清水建設の常務・技師長を勤めていて、海外出張も多く、スケッチブックに描いた淡彩の作品が好評で、思い切って個展を2年毎に開催する事にしました。多くの愛好者が見に来て下さり、画廊主もはじめての経験だと驚く程でした。

港ユネスコでは、第11回MUAサロンで、テーマ「異文化への旅」と題して、2008年9月25日に、米国留学のこと、1970年の大阪万博では5つの外国館を担当したこと、フセイン大統領時代のイラクでの話などをさせて頂きました。

清水建設退職後、水彩スケッチに油絵が加わります。水彩は透明な画材を使って描き、白い画面との関係を考慮しながら仕上げます。油絵は不透明な画材を重ねて描いていくわけで、キャンパスは隠されてしまいます。海外に出かける時は油絵の画材は重すぎるので、水彩スケッチを完成度の高い描き方で描き、それを油絵に移すやり方をします。水彩画展を毎年行っている会は2つ、油絵の方は3つです。

東京都美術館「蒼樹展」には、油絵の上達のために100号の油絵を20年間にわたり出品し、数々の賞を受賞しました。2017年、文部科学大臣省が「アドリア海の風」に与えられ、40周年記念誌の表紙に使う由で、感激しています。



●国際学術文化委員会  
ユース委員会

## 横井 彩

創立40周年おめでとうございます。

私が初めて港ユネスコ協会の事業に参加したのは、2018年に東京海洋大学水圏環境教育研究室との共催で実施された「芝浦の歴史と麻布十番運河巡り」でした。港区の地形や有栖川公園付近の湧水、縄文時代の貝塚に始まり江戸時代から現代に続く網元など海と深い関わりを持ってきた人々のお話などを重層的に説明して頂き、はるか遠くの自然豊かな場所の話だと思っていた森川海の連関が身近にあるということにとっても感動したのを覚えています。

その後参加した講演会やシンポジウム等では、国際的理解や多様性の寛容に資するテーマや地球規模の課題が取り上げられ、毎回楽しく学ばせて頂きました。参加者も小学生から社会人までと多彩な上に、ユネスコスクールや区内の学生の方々が参加者やスタッフとして参加していて、協会の活動の広がりを実感するとともに、それを支える関係者の皆様の熱意や努力に常に深い感銘を受けています。



●常任理事  
坐禅体験委員会委員長

## 渡部俊子

港ユネスコ協会も今年で40周年を迎える。思えば87年に入会した私も、気付いたら34年目になるのかと、我ながら月日の早さに驚いてしまいます。

「ボランティア」今更ですが、広辞苑で引くとボランティア=「義勇兵」と有り、志願者、奉仕者、自ら進んで社会事業などに無償で参加する人となっております。私も微力ながら、MUAの多岐にわたる委員会の活動に参加させて頂き、素晴らしい仲間との出会いも有り、「大使館訪問」「バスツアー」バザーの根付けが楽しい「みなと区民祭り」等々、貴重な講師による「講演会」は私の国際理解や学術文化に関し知らなかつた世界の勉強もさせて頂きました。

やはりボランティア活動は、個々会員の大変な時間と労力に依って文殊の知恵と会員の方々の人脈、交流の広さが有ってこそ、素晴らしい事業を続けて来られ、40

周年を迎える港ユネスコ協会の活動の歴史だと思いました。

忙しく大変な時期も、時間が過ぎると懐かしく楽しい思い出として残り、若かった頃の思い出が走馬燈のように浮かんできます。此からも自分の出来ることを微力ながらMUAと共に繋げて行きたいと思っております。



●グラフィック・デザイナー

## 米田嘉明

私の港ユネスコ協会への入会と、アニメにはまり始めた時期がたまたま重なります。元々趣味のあった異文化交流的に赴いた群馬・大泉町で、日本のアニメにはまっている日系ブラジル人との出会いから、私もアニメの広大な地平を知ることになります。印象派の画家から日本の浮世絵の深遠を知らされたように。だから何?と言うことですが、

今般申し上げねばならない事項は、港ユネスコ協会40周年に向けての思いであります。

私はグラフィック・デザイナーとして協会が開催する多岐にわたるイベントのチラシ作りに関与させて頂いており、それらに関与できることの幸運を喜びと感じている次第です。しかしながら、私がユネスコ運動なるものを知り、港ユネスコ協会に入会した理由は(順序は逆ですが)、「戦争は人の心の中で生まれるから、人の心の中に平和のとりでを～」と謳うあの理念です。堂々と不正義が罷り通る世界及びわが日本に、絶望感や無力感を持たされている昨今、そのシンプルで高潔な理念と、あらゆるジャンルに向けて地道な啓発活動を続けているユネスコの存在に救いを感じます。ですから、改め私が港ユネスコ協会の活動に従う理由を、あるアニメ作品の文脈の中から申せば、下記のようになろうかと思えます。—私は「私のゴーストの囁き」に従っている—と。妙なるもの云いをご容赦下さい。(＊ゴーストの囁き／アニメ「Ghost in the Shell・攻殻機動隊」より)

# MUA40



# MMAAO

開催チラシで見る  
過去10年間の主要事業

ここ10年間に、文化体験教室、日本語スピーチコンテスト、日本語教室、東京海洋大学と協力した芝浦クルーズなど、新規事業を立ち上げました。

2012

**古浄瑠璃の世界**  
3月5日(日) 10:00-12:00  
港区立麻布区民センターホール  
講師: 松尾 文夫氏  
会場: 港区立麻布区民センターホール  
〒106-8555 東京都港区麻布十番1-1-1  
TEL: 03-3434-3300

2014

**エベレスト**  
いつまでも挑戦  
80歳エベレスト登山  
〜希望の軌跡〜  
講師: 三浦雄一郎氏  
4.8月(日) 13:00-16:00  
港区立生涯学習センター  
〒106-8555 東京都港区麻布十番1-1-1  
TEL: 03-3434-3300

**YUKATA**  
A light, unlined kimono wearing class  
for foreign nationals and youths  
Date & Time: Sunday, July 27, 2014 13:00-16:00  
Venue: Akasaka Civic Center Japanese-style Room No.1 (5F)  
Capacity: Max. 20 persons on a first-come-first-served basis  
Admission: 500 yen  
What to bring: A yukata of your favor (one), Hair and make-up

2015

**エイサーの体験**  
日本の文化にふれてみませんか  
沖縄民話を聞いて...  
11月7日(日) 13:30-16:30  
港区立生涯学習センター1階(101号室)  
〒106-8555 東京都港区麻布十番1-1-1  
TEL: 03-3434-3300

**戦後70年 歴史和解への道**  
6月26日(日) 10:00-12:00  
港区立生涯学習センター1階(101号室)  
〒106-8555 東京都港区麻布十番1-1-1  
TEL: 03-3434-3300

**気候変動時代の水害と水不足**  
12月9日(日) 10:00-12:00  
港区立麻布区民センターホール  
〒106-8555 東京都港区麻布十番1-1-1  
TEL: 03-3434-3300

2016

**国際都市の感染症**  
1.27日(日) 13:30-16:30  
リーパホール  
〒106-8555 東京都港区麻布十番1-1-1  
TEL: 03-3434-3300

**アゼルバイジャンの家庭料理**  
6月5日(日) 13:00-15:00  
港区立生涯学習センター1階(101号室)  
〒106-8555 東京都港区麻布十番1-1-1  
TEL: 03-3434-3300

**アゼルバイジャンの昔と今**  
12月14日(日) 13:00-15:00  
港区立生涯学習センター  
〒106-8555 東京都港区麻布十番1-1-1  
TEL: 03-3434-3300

2017

主催 港ユネスコ協会 港区福祉会

●第2回 日本の民謡と民話

熊本県民謡の魅力を聞いて

おてもやんの踊り体験

10月7日(土) 13:30-18:00

港区立生涯学習センター 101号室

2018年度 第1回(民謡)理解委員会

2017年度 港ユネスコ協会 シンポジウム

文化プログラムと地域おこし

11.28 日(木) 18:00

国際文化会館 講堂(2F)

1200円(税込) 入場料

2018年度 第1回(文化)理解委員会

Organized by Minato UNESCO Association / Organizational by Minato Board of Education

Shall we ZAZEN?

Zazen practice organized by Minato UNESCO Association

Date: March 4, 2021 (Thursday) 17:45-19:45

Place: DEDAI-OJI temple

Zen priest: Mukan Kamada

2018年度 第1回(禅)理解委員会

2018

MINATO

Organized by Minato UNESCO Association / Organized by Minato City Education program

for Youths & Foreigners

CHA no YU

Experience a Tradition

●Lecture on the spirit and manners  
●Music performance by the instructor  
●Enjoy your performance (as your request)

Let's Japanese Culture

CHA no YU

10月27日(土) 13:30-18:00

港区立生涯学習センター 101号室

2018年度 第1回(茶)理解委員会

主催 港ユネスコ協会 港区福祉会

SLOVENIA

スロヴェニアのカルスト地方

●歴史、食文化と日本との関係

●ボツァイン・ペララニチ

9.27 日(土) 13:30-18:00

港区立生涯学習センター 101号室

2018年度 第1回(スロヴェニア)理解委員会

主催 港ユネスコ協会 港区福祉会

●第3回 日本の民謡と民話

安来節の踊り体験

10月14日(日) 13:30-18:00

港区立生涯学習センター 101号室

2018年度 第2回(民謡)理解委員会

音とホール音響のお話

中島 章博 氏

10.30 日(木) 18:00

港区立生涯学習センター 101号室

2018年度 第2回(音響)理解委員会

Organized by Minato UNESCO Association / Organized by Minato City Education program

Let's Japanese Culture

Shodo

Calligraphy Trial Class for foreign nationals and youth

Why don't you come into another Japanese culture, an Art of producing beautiful lines with bold strokes?

Your writing becomes an art. Let's enjoy time of mental concentration.

Contents:

- Short lecture of Japanese calligraphy history.
- Practical demonstration by instructors.
- Your trial of New Year's calligraphy exercise.

12月6日(土) 13:30-18:00

港区立生涯学習センター 101号室

2018年度 第2回(書道)理解委員会



2019

主催 港ユネスコ協会 港区教育委員会

6.21 (日)

港区立生涯学習センター

# 縄文の美を楽しむ

講師 品川 敦也

2019年度 第1回国際理解講演会

主催 港ユネスコ協会 港区教育委員会

7.20 (土)

港区立男女平等学習センター

# モンゴルの家庭料理

講師 品川 敦也

2019年度 第2回国際理解講演会

港区教育委員会 港区教育委員会

SDGs 19年度 第1回シンポジウム

# 気候変動について

SDGsのための学びとアクション

12.6 (日)

港区立生涯学習センター

2019年度 第3回国際理解講演会

2020

[Organized by Minato UNESCO Association] [Sponsored by Minato-ku]

Minato UNESCO Association

# 3rd Japanese Speech Contest

On 14th December (Sat) 2019 From 13:30 to 16:00

【Theme of Speech】  
Please choose one from the two topics below.  
1) What is new in Japan to you?  
2) What do you think of global climate change?  
Please take about 3-5 minutes to give your speech.

【Division of Speech】  
You can choose one of the two topics.  
1) 1st Division (1st-3rd grade)  
2) 2nd Division (4th-6th grade)  
3) 3rd Division (7th-9th grade)

【Award】  
1st, 2nd, 3rd place and Best of Show award will be given to the winners.

【Entry】  
Please send your application form and speech manuscript to the following address.  
Application deadline: 11/15 (Sun) 18:00

【Entry Form】  
Please fill out the application form and send it to the following address.  
Application deadline: 11/15 (Sun) 18:00

【Speech Manuscript】  
Please write your speech manuscript on a separate sheet of paper. The length should be about 3-5 minutes. Please bring your own manuscript to the contest.

【Contest & Application to】  
Minato UNESCO Association  
Please contact us by e-mail: [info@minato-unesco.jp](mailto:info@minato-unesco.jp)  
Phone: 03-3434-2300  
Fax: 03-3434-2311

【Place of Contest】  
Minato City Life-Learning Learning Center  
Room 121  
1-1-1 Minato City Life-Learning Learning Center  
Minato City, Tokyo, Japan 105-8561  
Phone: 03-3434-2300  
Fax: 03-3434-2311

主催 港ユネスコ協会 港区教育委員会

3.6 (日)

港区立生涯学習センター

# Wrapping 風呂敷

講師 品川 敦也

2020年度 第1回国際理解講演会

主催 港ユネスコ協会 港区教育委員会

3.6 (日)

港区立生涯学習センター

# 盆裁

講師 品川 敦也

2020年度 第2回国際理解講演会

主催 港ユネスコ協会 内務 港区教育委員会 後援 世界遺産アカデミー

10.15 (日)

港区立生涯学習センター

# 古代ギリシャの歴史と神話と世界遺産

講師 友野 智子

2020年度 第3回国際理解講演会

主催 港ユネスコ協会 港区教育委員会 港区教育委員会 港区教育委員会

# 日本の伝統文化「盆石」美術と体験

講師 品川 敦也

2020年度 第4回国際理解講演会

2020年度 港ユネスコ協会 シンポジウム

12.11 (日)

港区立生涯学習センター

# 魅力ある海を次世代につなぐために

講師 品川 敦也

2020年度 第5回国際理解講演会

2020年度 港ユネスコ協会 シンポジウム

1.30 (日)

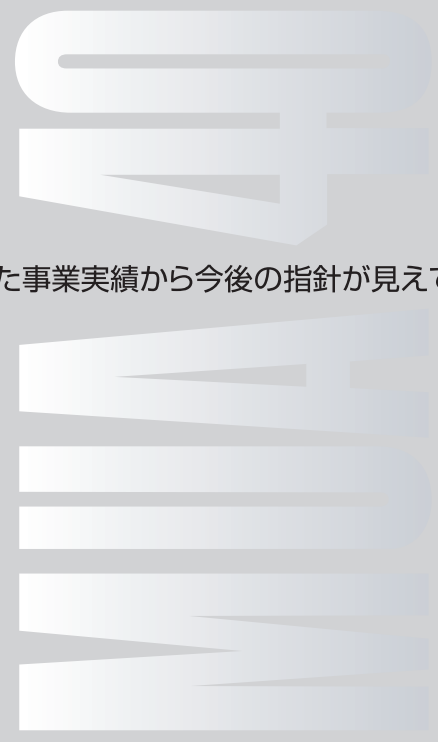
港区立生涯学習センター

# 東京の森川海を知る

講師 品川 敦也

2020年度 第6回国際理解講演会

MIA40



過去10年間に各委員会が積み上げてきた事業実績から今後の指針が見えてきます。

# 2011年度／事業報告

委員会名	実施月日	事業内容
総会	4月27日(水)	・2011年度定期総会／懇親会(生涯学習センター305号)
会員開発委員会	5月19日(木) 7月20日(水) 10月2日(日) 1月24日(火) 1月15日(日)	・新入会員を囲む会 ・懇親会(生涯学習センター305号) ・第15回MUAサロン(好奇心を旺盛に)永野博協会会員(事務局) ・日帰りバスツアー(ジャマミュージアム・富士山レーダードーム) ・インド大使館訪問 ・会員新年懇親会 (白金:イタリア料理「グリフィン」)
広報プレティン・インターネット委員会	季刊 季刊	・和文プレティンNos.124(6/1)～127(3/1) ・英文プレティンNos.123(4/20)～126(3/22)
学術文化委員会	9月25日(土) 3月6日(火)	・日本文化紹介シリーズ第24回「文楽を楽しむ」 レクチャー&公演鑑賞(国立劇場・伝統芸能情報館) ・第29回ディプロマツツレクチャー(国際文化会館) 講師:山口 壮 外務副大臣 演題:昨今の日本の外交政策
国際理解講座委員会	10月12日(水) 1月26日(木) 3月9日(金)	・第1回国際理解講演会(生涯学習センター305号) 「変わるインド、変わらないインド」 講師:武藤 友治、(元・在ボンベイ日本総領事) ・第2回国際理解講演会(生涯学習センター305号) 「今、ブラジルが熱い」 講師:筒井 茂樹(元・伊藤忠ブラジル会社社長) ・第3回国際理解講演会(生涯学習センター305号) 「オランダと日本の深い歴史を探る」 講師:イサベラ・田中・ファンダーレン(長崎大学客員教授)
語学研修委員会	4/14～7/28 9/8～12/15 1/5～3/23 4/13～7/27 9/7～12/14 1/4～3/22	・英会話初級クラス(水):マーク・マードック先生 14回 同上 同上 14回 同上 同上 12回 会場:初級クラス…麻布区民センター ・英会話中級クラス(火):マーク・マードック先生 14回 同上 同上 14回 同上 :ジェフェリー・ブラウン先生 12回 会場:中級クラス…男女平等参画センター
世界の料理委員会	7月30日(土) 11月17日(土) 3月17日(土)	世界の味文化紹介シリーズ お話と調理実習(男女平等参画センター料理室) ・料理:「沖縄の家庭料理」 講師:山畑 喜一(沖縄料理店代表) 三線演奏:岡村聡土 ・料理:「フィンランドのクリスマス料理」 講師:板根シルック(翻訳家) ・料理:「西アフリカ・マリの家庭料理」 講師:青木 ラフマトウ(西アフリカ料理主宰)
みなと区民まつり特別委員会	10月8日(土) ～9日(日)	・第30回みなと区民まつり(芝公園一帯)。 「みんなの広場」にテント(28番)をはって、当協会の活動をパネル展示で紹介。PR活動とともに新規会員獲得活動を展開。 その他、ミニチャリティーバザーを実施。

委員会名	実施月日	事業内容
ユース活動委員会	7月6日(水)~7(木) 7月9日(土) 10月15日(土)	・モンゴルのタベ（生涯学習センター101号） ・広陵中学、日本化学未来館、モンゴル大使館表敬訪問 ・ユースと外国人の為の浴衣体験教室（生涯学習センター） ・ユースと外国人の為の茶の湯体験教室（生涯学習センター）
MUA事務局	11月4日(金)	・第11回フェスティバル～ん（港区立生涯学習センター）。 3階フロアーにパネル展示で諸活動を紹介するとともに訪問者に口頭説明を行った。
30周年 特別事業委員会	9月3日(土)	・30周年記念特別公開プログラム「日本文化と世界遺産」 会場：赤坂区民センターホール 第1部：基調講演「日本文化と世界遺産」文化長官 近藤 誠一氏 第2部：映像と対談「世界遺産を考える」 文化庁長官&NHK国際文化センター 須磨 章氏 第3部：音楽・ひちりき演奏 雅楽師 東儀 秀樹氏
30周年 特別事業委員会	10月17日(月)	・30周年記念式典&パーティー 会場：国際文化会館 岩崎小弥太記念ホール 第1部：式典 *30周年継続在籍会員9名への感謝状と記念品贈呈 *英会話講師マーク・マードック氏への感謝状と記念品 *長年の寄付者（東京インターナショナルスクール坪谷郁子理事）へ感謝状と記念品贈呈 第2部：パーティー *アトラクション、バイオリン演奏(渡辺聖子)
30周年 特別事業委員会	11月19日(土)	・「歌と踊りで世界をめぐる」会場：高輪区民センター *インターナショナル・セカンドリ・スクール：軽音楽、フーテン、ダンス *東京インターナショナル・スクール：合唱(7~12歳、30名) *父と子のハグハイ：大塚 誠一郎&大塚 清輔 *テンプル大学ジャパンキャンパス：マルチタンス部(10名) *ブルカリ民謡と伝統楽器：マルコバ・カリヨルタン・マルコバ(2名) *韓国伝統民族舞踊：千明善韓国舞踏研究所(6名) *ロシアの歌とギター：サ・カレナス カロス・ヤウ・エリツ(2名) *アルゼンチン・タンゴの踊り：マルティン・チョーリン 1キ・ムラ(2名) *白門グリーンクラブ：男性合唱コーラス(25名)
30周年 特別事業委員会	3月31日(土)	・30周年記念誌発行 祝辞、3つの記念事業記録、「会員の声」2006~2011年 活動年表、30年の事業別一覧表など
東京都 ユネスコ連絡協議会	10月15日(土) から16日(日)	・2011年度関東ブロック・ユネスコ活動研究会in成田 成田市ビューホテル ・UNESCO加盟60周年記念「今こそ、ユネスコ活動の活性化を！」 第1日目・シンポジウム「自然環境と未来遺産」 パネリストはそれぞれの立場から意見を発表、「自然保護の立場から」、 「ユネスコスクールにおける地域遺産活動の立場から」、 「文化財保護の立場から」、「平泉が世界遺産登録を受けた立場から」 第2日目・分科会：（第1~5）に分かれて討議 ・エクスカーション



# 2012年度／事業報告

委員会名	実施月日	事業内容
	4月24日(水) 通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2012年度定期総会(生涯学習センター)</li> <li>・東日本大震災支援「ユネスコ協会就学支援奨学金」への募金活動とミンダナオ子ども図書館への支援活動</li> </ul>
会員開発委員会	5月17日(木) 7月20日(水) 11月29日(木) 1月27日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入会員を囲む会・懇親会(生涯学習センター305号室)中止</li> <li>・第16回MUAサロン(世界100カ国訪問記・森村俊介会員(事務局))</li> <li>・スペイン大使館訪問</li> <li>・会員新年懇親会(白金台：イタリア料理「グリフォン」)</li> </ul>
広報プレティン インターネット 委員会	季刊 季刊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和文プレティンNos. 128(6/1)～131(3/1)</li> <li>・英文プレティンNos. 127(7/20)～133(18)</li> </ul>
国際学術文化委員会	8月3日(金)  9月28日(金)  11月13日(火)  1月25日(金)  2月12日(火)  3月5日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回国際理解講演会(生涯学習センター305号室) 「外交とユーモア」 講師:大塚 清一郎(元・駐スウェーデン大使)</li> <li>・第2回国際理解講演会(生涯学習センター305号室) 「日本外交と領土問題」 講師:東郷 和彦(京都産業大学世界問題研究所長)</li> <li>・シンポジウム「これからの私たちの暮らし気候変動とエネルギー需給を考えるー3.11から学ぶこと」(麻布区民センター) キーノートスピーカー：山田 興一 (低炭素社会戦略センター副センター長) スピーカー：山本 英一(荒川区環境清掃部環境課長) スピーカー：屋代 知行(つくば市企画部企画課) スピーカー：吉野 亜文(港区地球温暖化対策担当課長) コーディネーター：永野 博(港ユネスコ協会理事)</li> <li>・第3回国際理解講演会(生涯学習センター305号室) 「学長室から見た日-米大学の違い」 講師：ブルース・ストロナク(テンブル大学ジャパンキャンパス学長)</li> <li>・第30回デイプロマツツ・レクチャー(国際文化会館) 「Japan's Soft Power and Public Diplomacy」 講師：横井 裕(外務報道官)</li> <li>・特別企画ー古浄瑠璃の世界「弘知法印御伝記」 (麻布区民センター) 出演：越後 角太夫、キーン・ドナルド他</li> </ul>
語学研修委員会	7/25 ～12/12 ～4/3  4/8～7/25 9/4～12/2 1/8～3/26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英会話初級クラス(水)：マーク・マードック先生 14回 同上 同上 14回 同上 同上 12回 会場：初級クラス…麻布区民センター</li> <li>・英会話中級クラス(火)：マーク・マードック先生 14回 同上 同上 14回 同上 : ジェフェリー・ブラウン先生 12回 会場：中級クラス…男女平等参画センター</li> </ul>

委員会名	実施月日	事業内容
世界の料理委員会	6月30日(土) 11月17日(土) 3月16日(土)	世界の味文化紹介シリーズ お話と調理実習(男女平等参画センター) ・料理「ブラジルの家庭料理」 講師：西村 アメリア(料理研究家) ・料理「スコットランドのクリスマス家庭料理」 講師：チャールズベントレー(セント・アンドルーズ協会会員) ・料理「ペルーの家庭料理」 講師：大貫 テレサ
みなと区民まつり 特別委員会	10月6日(土) ～7日(日)	・第31回みなと区民まつり(芝公園一帯) 「みんなの広場」にテントを出し、当協会の活動をパネル展示で紹介。 PR活動とともに新規会員獲得活動を展開
ユース活員会	6月21日(木) 7月21日(土) 1月26日(土)	・モンゴル人文大学訪日団の受け入れ 三田高校、日本科学未来館など訪問。 ・ユースフォーラム(男女平等参画センター5Fホール) ・ユースと外国人の為の茶の湯体験教室(生涯学習センター203号)
MUA事務局	10月26日(金)	・第12回フェスティバルーン(生涯学習センター) 3階フロアにパネルを展示して、活動を紹介。来室者に口頭説明。
東京都ユネスコ 連絡協議会	10月13日(土) ～14日(日)	・2012年度関東ブロック・ユネスコ活動研究会in茨城 つくばカピオ・ホール&つくば国際会議場 「築こう、心の中に平和のとりでを」 第1日目：基調講演「世界遺産40年の歩みと展望」 パネルディスカッション「世界遺産・無形文化遺産は地域の宝物」 第2日目：分科会(第1～4) & エクスカーション

# 2013年度／事業報告

委員会名	実施月日	事業内容
	4月24日(水)	・2013年度定期総会／懇親会(生涯学習センター305号)
会員開発委員会	5月16日(木) 7月19日(金)  1月26日(日) 3月19日(水)	・新入会員を囲む会・懇親会(生涯学習センター305号) ・第17回MUAサロン「いろいろな面で違う,韓国人と日本人」 塩瀬正明・当協会会員(事務局) ・会員新年懇親会(白金:イタリア料理「グリフォン」) ・モンゴル国大使館訪問
広報プレティン・インターネット委員会	季刊 季刊	・和文プレティン No.132-No.135 ・英文プレティン No.131-No.134
国際学術文化委員会	7月2日(火)  9月3日(火)  11月28日(火)  2月3日(月)  2月13日(木)	・第1回国際理解講演会(麻布区民センター・区民ホール) 「疾走するアジア～変化するアジアの現代アートの現況～」 講師:南條 史生氏(森美術館・館長)  ・第2回国際理解講演会(生涯学習センター305号) 「東アジアの緊張と日本外交の課題」 講師:春名 幹男氏(早稲田大学院客員教授)  ・シンポジウム 「なぜ、今幸福論がさかんなのか」(男女平等センター) スピーカー:フロリアン・クルマス氏 (ドイツ日本研究所 所長) スピーカー:目崎 雅昭氏(国際文化アナリスト) スピーカー:長田 七美氏(荒川区 自治総合研究所副所長) コーディネーター:永野 博(当協会 副会長)  ・第3回国際理解講演会(生涯学習センター304号) 「アゼルバイジャン共和国・独立国家として22年間」 講師:ギュルセル・イスマイルザーデ特命全権大使  ・第31回ディプロマツレクチャー(国際文化会館) 講師:平松 賢司 外務省 総合外交政策局 局長 演題:Current Japanese Foreign Policy
語学研修委員会	4/24～7/24 9/4～12/11 1/8～4/1 4/23～7/23 9/3～12/10 1/14～3/26	・英会話初級クラス(水):マーク・マードック先生 14回 同上 同上 14回 同上 同上 12回 会場:初級クラス…麻布区民センター ・英会話中級クラス(火):マーク・マードック先生 14回 同上 同上 14回 同上 :ジェフェリー・ブラウン先生 12回 会場:中級クラス…男女平等参画センター

委員会名	実施月日	事業内容
世界の料理委員会	7月20日(土) 11月23日(土) 3月9日(日)	世界の味文化紹介シリーズ お話と調理実習(男女平等参画センター料理室) ・料理:「ブータンの家庭料理」 講師:レキ・チョデンさん (横浜国立大学 大学院 修士留学生) ・料理:「アルメニアのクリスマス料理」 講師:カリネ・ハルチュニヤンさん (日本大学経済学部研修生・国際交流基金フェローシップ招聘者) ・料理:「スリランカの家庭料理」 講師:P.R.ガマゲ(当協会会員)
みなと区民まつり 特別委員会	10月12日(土) ～13(日)	・第32回みなと区民まつり(芝公園一帯) 「みんなの広場」にテントをはって、 当協会の活動をパネル展示で紹介。 PR活動とともに新規会員獲得活動を展開。  ・ミニチャリティーバザーと呈茶を実施
ユース活動委員会	10月5日(土) 1月25日(土) 2月8日(土)	・ユネスコ・ユースフォーラム(男女共同参画センター5Fホール) ・ユースと外国人の為の茶の湯体験教室(生涯学習センター 2F和室) ・ユースと外国人の為の書道体験教室(生涯学習センター 304号室)
MUA事務局	3月28日(金)	・第13回フェスティバル～ん(港区立生涯学習センター) 開会式にてPR。 3階フロアにパネル展示で諸活動を紹介するとともに 訪問者に口頭説明を行った。



# 2014年度／事業報告

委員会名	実施月日	事業内容
	4月25日(金)	2014年度定期総会(港区立生涯学習センター305号)
会員開発委員会	5月29日(木) 9月30日(火)  1月25日(日) 2月10日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入会員を囲む会・懇親会(港区立生涯学習センター304号)</li> <li>・第18回MUAサロン「鳥の目、虫の目で見る世界」 話者:佐藤 修平・当協会会員(事務局)</li> <li>・会員新年懇親会(白金:イタリア料理「グリフォン」)</li> <li>・フィリピン共和国大使館訪問</li> </ul>
広報プレティン・インターネット委員会	6月11日(月) 9月1日(月) 12月1日(月) 3月1日(日) 6月12日(木) 9月29日(月) 12月12日(月) 3月1日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和文プレティン No.136</li> <li>・和文プレティン No.137</li> <li>・和文プレティン No.138</li> <li>・和文プレティン No.139</li> <li>・英文プレティン No.135</li> <li>・英文プレティン No.136</li> <li>・英文プレティン No.137</li> <li>・英文プレティン No.138</li> </ul>
国際学術文化委員会	4月8日(火)  9月16日(火)  11月28日(金)  2月28日(土)  3月3日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回国際理解講演会(港区立麻布区民センター・区民ホール) 「エベレスト いつまでも挑戦」 講師:三浦 雄一郎氏(プロスキーヤー、クラーク国際高等学校・校長)</li> <li>・第2回国際理解講演会(港区立生涯学習センター305号) 「これからの世界と日本」 講師:榊原 英資氏(青山学院大学教授)</li> <li>・第3回国際理解講演会(港区立生涯学習センター304号) 「ミクロネシアから考える 太平洋のなかの日本 ～歴史が育む地域の『交流』とこれから」 講師:今泉 裕美子氏(法政大学国際文化部教授)</li> <li>・シンポジウム(みなとパーク芝浦/リーブラ1Fホール) 「成熟都市へのみち～オリンピック・パラリンピックを超えて」 パネリスト:中村 良夫氏(東京工業大学名誉教授) パネリスト:安田 雅俊氏(港区教育委員会事務局次長) パネリスト:芥川 麻実子氏(道の駅 八王子滝山駅長) コーディネーター:永野 博(当協会 副会長)</li> <li>・第31回ディプロマツツレクチャー(国際文化会館) 講師:東郷 和彦 京都産業大学教授 ・同大学世界問題研究所 所長 演題:Japan's Foreign Policy: Present Situation, its Risks and Potentiality</li> </ul>

委員会名	実施月日	事業内容
語学研修委員会	4/16～7/16 9/10～12/17 1/7～4/1	・英会話初級クラス(水)：マーク・マードック先生 14回 同上 同上 14回 同上 同上 12回 会場：初級クラス・・・港区立麻布区民センター 時間18：30～20：30
世界の料理委員会	7月6日(日) 11月15日(土)	世界の味文化紹介シリーズ お話と調理実習(港区立男女平等参画センター料理室) ・料理：「台湾の薬膳家庭料理」 講師：劉 淑恵さん(薬剤師・薬膳料理研究家) ・料理：「ポルトガルのクリスマス料理」 講師：アナ・マルティンス・デ・カルバリョさん (駐日ポルトガル領事夫人・看護師)
みなと区民まつり 特別委員会	10月11日(土) ～12(日)	・第33回みなと区民まつり(芝公園一帯)。 「みんなの広場」にテントをはって、当協会の 活動をパネル展示で紹介。 PR活動とともに新規会員獲得活動を展開。 ・ミニチャリティーバザーを実施。
ユース活動委員会	10月4日(土)	・「UNESCOユース・フォーラムinみなと2014」 (港区立男女平等参画センター5Fホール)
文化体験教室委員会	7月27日(日) 12月5日(土) 1月24日(土)	・「ゆかた着付け体験教室」(港区立赤坂区民センター第一和室) ・「書道体験教室」(港区立生涯学習センター304号室) ・「茶の湯体験教室」(港区立生涯学習センター203号室) 講師：村松 宗幸さん
MUA事務局	10月24日(金)	・第14回フェスティバル～ん(港区立生涯学習センター) 開会式にてPR。 3階フロアにパネル展示で諸活動を紹介するとともに 訪問者に口頭説明を行った。
他団体への 参加・協力	6月17日(火) 及び19日(木) 10月25日(土)	・都立三田高校ユネスコ委員会メンバー事務局訪問 (生徒35名、先生2名) ・2014年度関東ブロック・ユネスコ活動研究会in群馬
支援・募金活動	通年	・東日本大震災子ども支援募金「ユネスコ協会就学支援奨学金」 ・ミンダナオ子ども図書館への支援

# 2015年度／事業報告

委員会名	実施月日	事業内容
	4月28日(火)	・2015年度定期総会（港区立生涯学習センター305号室）
会員開発委員会	6月9日(火) 7月14日(火)  11月17日(水) 2月6日(土)	・新入会員を囲む会・懇親会（港区立生涯学習センター304号室） ・第18回MUAサロン「原爆を危うく逃れた終戦の頃、 そしてアメリカでの大学生活」 話者：田部 揆一郎・当協会会員（事務局） ・アゼルバイジャン共和国大使館訪問 ・新年懇親会（新宿区神楽坂：東京理科大学 「理窓会クラブ」サロン）
広報プレティン・ インターネット 委員会	6月1日(月) 9月1日(火) 12月1日(火) 3月1日(金) 6月1日(月) 9月18日(金) 12月1日(火) 3月1日(金)	・和文プレティン No.140 ・和文プレティン No.141 ・和文プレティン No.142 ・和文プレティン No.143 ・英文プレティン No.139 ・英文プレティン No.140 ・英文プレティン No.141 ・英文プレティン No.142
国際学術文化委員会	6月26日(金)  10月28日(水)  12月9日(水)  2月1日(月)  2月29日(月)	・第1回国際理解講演会（港区立生涯学習センター・305号） 「戦後70年 歴史和解への道」 講師：松尾 文夫氏（ジャーナリスト） ・第2回国際理解講演会（港区立麻布区民センター・ホール） 「日本の美の心 伊勢神宮式年遷宮を撮る」 講師：南川 三治郎氏（写真家） ・シンポジウム（港区立麻布区民センター・ホール） 「気候変動時代の水害と水不足」 パネリスト：高橋 裕氏（東京大学名誉教授） パネリスト：森下 郁子氏（河川学者（一社）淡水生物研究所所長） パネリスト：沖 大幹氏（東京大学生産技術研究所教授） コーディネーター：永野 博（当協会 副会長） ・第3回国際理解講演会（港区立生涯学習センター・305号） 「江戸の庶民文化を語る」 講師：竹内 誠氏（東京都江戸東京博物館館長） ・第33回ディプロマツレクチャー（国際文化会館） 講師：藤崎 一郎氏（日米協会会長、前駐米日本大使） 演題：Asia Pacific-Challenges and Chances
語学研修委員会	4/15～8/5 9/2～12/9 1/6～3/23	・英会話初級クラス(水)：マーク・マードック先生 14回 同上 同上 14回 同上 同上 12回 会場：初級クラス・・・港区立麻布区民センター 時間18：30～20：30

委員会名	実施月日	事業内容
世界の料理委員会	6月6日(土) 11月3日(火)	世界の味文化紹介シリーズ お話と調理実習(港区立男女平等参画センターリーブラ料理室) ・料理:「アルバニアの家庭料理」 講師:レコ・ディダさん (駐日アルバニア共和国特命全権大使夫人) ・料理:「リトアニアの伝統料理」 講師:ガリナ・メイルーニエネさん (駐日リトアニア共和国特命全権大使夫人)
みなと区民まつり 特別委員会	10月10日(土) ～11(日)	・第34回みなと区民まつり(芝公園一帯)。 「みんなの広場」にテント設営して、当協会の活動をパネル展示で紹介。 PR活動とともに新規会員獲得活動を展開。 ・ミニチャリティーバザーを実施。
ユース活動委員会	10月3日(土)	・「UNESCOユース・フォーラムinみなと2015」 (港区立男女平等参画センターリーブラホール)
文化体験教室委員会	7月4日(土) 11月7日(土) 12月12日(土) 1月23日(土)	・「ゆかた着付け体験教室」(港区立赤坂区民センター第一和室) ・「沖縄民話とエイサー体験教室」 (港区立生涯学習センター101号室) 講師:水野 順一郎さん(琉球舞団昇龍祭太鼓) ・「書道体験教室」(港区立生涯学習センター304号室) ・「茶の湯体験教室」(港区立生涯学習センター203号室) 講師:松村 宗幸さん
MUA事務局	10月23日(金)	・第16回フェスティバル～ん(港区立生涯学習センター) 開会式にてPR。 3階フロアにパネル展示で諸活動を紹介するとともに訪問者に口頭説明を行った。
他団体への 参加・協力	6月11日(木) 及び16日(火) 10月24日(土)	・都立三田高校ユネスコ委員会メンバー事務局訪問 「UNESCOの誕生と、戦後70年」についての話し合い (生徒30名、先生2名) ・2015年度関東ブロック・ユネスコ活動研究会in栃木 (UNESCO創設70周年記念)
支援・募金活動	通年	・東日本大震災子ども支援募金「ユネスコ協会就学支援奨学金」 ・ミンダナオ子ども図書館への支援



# 2016年度／事業報告

委員会名	実施月日	事業内容
	4月26日(火)	・2016年度定期総会(於:港区立生涯学習センター305号)
会員開発委員会	6月1日(水)	・新入会員を囲む会・懇親会(於:港区立生涯学習センター304号)
	11月8日(火)	・第19回MUAサロン 「国民学校入学(昭和18年)から今日のMUA活動に至るまで 故郷(丹波)の恩師に敬愛と感謝を込めて」 話者:友金 守・当協会理事(於:事務局)
	1月11日(水)	・新年懇親会(於:港区芝:NEC芝倶楽部)
	2月14日(火)	・オーストリア大使館訪問
広報プレティン・インターネット委員会	6月1日(月)	・和文プレティン No.144
	9月1日(火)	・和文プレティン No.145
	12月1日(火)	・和文プレティン No.146
	3月1日(金)	・和文プレティン No.147
	6月1日(月)	・英文プレティン No.143
	9月1日(木)	・英文プレティン No.144
	12月1日(火)	・英文プレティン No.145
3月1日(金)	・英文プレティン No.146	
国際学術文化委員会	7月13日(水)	・第1回国際理解講演会(於:港区立生涯学習センター・101号) 「異文化の中で知ったこと見えたこと感じたこと」 講師:中嶋 章博氏(指揮者)
	10月14日(金)	・第2回国際理解講演会(於:港区立生涯学習センター・305号) 「バイリンガルの子ども達」 講師:オパール・ダン氏(幼児教育専門家)
	12月14日(水)	・第3回国際理解講演会(於:港区立生涯学習センター・305号) 「アフガニスタンの世界遺産 パーミヤンの昔と今」 講師:前田 耕作氏(アフガニスタン文化研究所 所長)
	1月27日(金)	・シンポジウム(於:港区立男女平等参画センター・ホール) 「国際都市と感染症」 パネリスト:岩本 愛吉氏(東京大学名誉教授) パネリスト:中嶋 建介氏(日本医療研究開発機構戦略推進部 上席調査役) パネリスト:沢辺 京子氏(国立感染症研究所昆虫医科学部部長) コーディネーター:永野 博(当協会 会長)
	3月1日(水)	・第34回ディプロマツレクチャー(於:国際文化会館) 講師:嘉治 美佐子氏(世界平和研究所 シニアフェロー) 演題:From Geneva, the Humanitarian Capital
語学研修委員会	4/13~7/27	・初級英会話講座(水):マーク・マードック先生 14回
	9/7~12/4	同上 同上 14回
	1/11~4/5	同上 同上 12回 会場:港区立麻布区民センター 時間18:30~20:30
	9/28~12/21	・初中級英語講座(水):笠原 三郎先生 12回
	1/11~3/29	同上 同上 12回 会場:港区立生涯学習センター3階事務局 時間18:30~20:30

委員会名	実施月日	事業内容
世界の料理委員会	6月5日(日) 11月6日(日) 2月26日(日)	世界の味文化紹介シリーズ お話と調理実習 (於:港区立男女平等参画センターリーブラ料理室) ・料理:「アゼルバイジャンの家庭料理」 講師:スーラ・ミルザエフさん (駐日アゼルバイジャン共和国大使館一等書記官婦人) ・料理:「アメリカ南部の家庭料理」 講師:ラトーニャ・ウィティカさん (フードコンサルタント レストラン「ソールドハウス」総料理長) ・料理:「キルギスの家庭料理」 講師:ティニスタノワ・ジャニルさん (キルギス共和国出身 日本の大学に留学 現在は日本企業勤務)
みなと区民まつり 特別委員会	10月8日(土) ～9(日)	・第35回みなと区民まつり(芝公園一帯)。「みんなの広場」にテント設営して、当協会の活動をパネル展示で紹介。PR活動とともに新規会員獲得活動を展開。 ・ミニチャリティーバザーを実施。
ユース活動委員会	10月1日(土)	・「UNESCOユース・フォーラムinみなと2016」 (於:港区立男女平等参画センター・ホール)
文化体験教室委員会	6月25日(土) 11月26日(土) 12月3日(土) 1月18日(水)	・「ゆかた着付け体験教室」(於:港区立生涯学習センター203号) ・「茶の湯体験教室」(於:港区立生涯学習センター203号) 講師:松村 宗幸さん ・「書道体験教室」(於:港区立生涯学習センター304号) ・「書初めワークショップ」(於:テンプル大学ジャパンキャンパス)
MUA事務局	10月21日(金)	・第17回フェスティバル～ん(於:港区立生涯学習センター) 開会式にてPR。 3階フロアーにパネル展示で諸活動を紹介するとともに訪問者に口頭説明を行った。
他団体への 参加・協力	6月14日(火) 及び16日(木) 9月3日(土)	・都立三田高校ユネスコ委員会メンバー事務局訪問 「ユネスコ活動と、戦争と平和について考える」 (生徒30名、先生2名) ・2016年度関東ブロック・ユネスコ活動研究会in東京 (今日の世界を考え、明日の平和を語り合おう)
支援・募金活動	通年	・東日本大震災子ども支援募金「ユネスコ協会就学支援奨学金」 ・ミンダナオ子ども図書館への支援 ・熊本地震被災者支援

# 2017年度／事業報告

委員会名	実施月日	事業内容
事務局	4月26日(火)	2017年度定期総会(於:港区立生涯学習センター305号)
会員開発委員会	6月28日(水) 6月30日(金) 7月 10月17日(火) 12月20日(水) 1月16日(火) 3月8日(木)	・新入会員を囲む会・懇親会(於:港区立生涯学習センター304号) ・第1回坐禅体験講座(於:青松寺) ・MUA紹介リーフレット作成 ・第21回MUAサロン「Global Thinking, Local Action 新しい地球市民活動の可能性～主婦集団の挑戦」 話者:長門 芳子・当協会理事(於:事務局) ・イタリア大使館訪問 ・新年懇親会(於:港区芝:NEC芝倶楽部) ・ドイツ大使館訪問
広報・インターネット委員会	6月7日(月) 9月1日(火) 12月1日(火) 3月1日(金) 6月1日(月) 9月1日(木) 12月1日(火) 3月1日(金)	・和文ブレティン No.148 ・和文ブレティン No.149 ・和文ブレティン No.150 ・和文会報 No.151(名称を“ブレティン”から“会報”に変更) ・英文ブレティン No.147 ・英文ブレティン No.148 ・英文ブレティン No.149 ・英文会報 No.150(名称を“ブレティン”から“会報”に変更)
国際学術文化委員会	5月19日(金) 10月16日(月) 11月28日(火) 12月15日(金) 2月9日(金) 2月27日(火)	・国立西洋美術館訪問(会員対象事業) ・第1回国際理解講演会(於:港区立生涯学習センター・305号) 「緊迫する東アジア情勢を語る」 講師:東郷 和彦氏(元駐オランダ大使・当協会賛助会員) ・シンポジウム(於:国際文化会館) 「文化プログラムと地域おこし」 パネリスト:青柳 正規氏(前文化庁長官) パネリスト:堀口 昭仁氏(文化庁長官官房政策課 専門職) パネリスト:小池 真一氏 (47文化プログラム・プロジェクト・マネジャー) コーディネーター:永野 博(当協会 会長) ・第2回坐禅体験講座(於:青松寺) ・第34回ディプロマツレクチャー(於:国際文化会館) 講師:林 健太郎氏(医師) 演題:Health Crisys of Japan and its Future Plan ・第2回国際理解講演会(於:港区立生涯学習センター・305号) 「三途の川の渡り方:笑顔の意味について」 講師:中島 宏昭氏(元昭和大学横浜市北部病院呼吸器センター長)
語学研修委員会	4/12~6/21 7/5~9/20 10/4~12/13 1/10~3/28	・初級英会話講座(水):マーク・マードック先生 春期コース 10回 同上 同上 夏期コース 10回 同上 同上 秋期コース 10回 同上 同上 冬期コース 10回 会場:港区立麻布区民センター 時間18:30~20:30

委員会名	実施月日	事業内容
	4/12~6/21 7/5~9/20 10/4~12/13 1/10~3/28	・初・中級英語講座（水）：笠原 三郎先生 春期コース 10回 同上 同上 夏期コース 10回 同上 同上 秋期コース 10回 同上 同上 冬期コース 10回 会場：港区立生涯学習センター3階事務局 時間18:30~20:30
世界の料理委員会	6月18日（日）  2月24日（日）	世界の味文化紹介シリーズ お話と調理実習（於：港区立男女平等参画センターリーブラ料理室） ・料理：「ミャンマーの家庭料理」 講師：ユウ・ウェーさん （ミャンマー料理店オーナー） ・料理：「ルーマニアの家庭料理」 講師：チェルケアザ・シルヴィアさん （ルーマニア大使秘書・広報文化担当）
みなと区民まつり 特別委員会	10月7日（土） ～8（日）	・第36回みなと区民まつり（芝公園一帯）。「みんなの広場」に テント設営して、当協会の活動をパネル展示で紹介。 PR活動とともに新規会員獲得活動を展開。 ・ミニチャリティーバザーを実施。
文化体験教室委員会	7月1日（土） 10月7日（土）  12月2日（土） 1月20日（土） 1月27日（土）	・「ゆかた着付け体験教室」（於：港区立生涯学習センター203号） ・「熊本の民話と踊り体験教室」 （於：港区立生涯学習センター・101号） 講師：藤間 豊大郎さん（踊り）、松本 尚子さん（民話の語り） ・「書道体験教室」（於：港区立生涯学習センター304号） 講師：金田 翠夢さん ・「日本語スピーチコンテスト」 （於：港区立生涯学習センター・101号） ・「茶の湯体験教室」（於：港区立生涯学習センター203号） 講師：松村 宗幸さん
事務局	10月20日（金）	・第18回フェスティバル～ん（於：港区立生涯学習センター） 開会式にて活動をPR。 3階フロアーにパネル展示で諸活動を紹介するとともに訪問者に 口頭説明を行った。
他団体への 参加・協力	6月12日（火） 及び19日（木）  7月21日（金）  10月14日（土） 及び15日（日）	・都立三田高校ユネスコ委員会メンバー事務局訪問 「ユネスコ活動と、戦争と平和 について考える」 （生徒32名、先生2名） ・都立六本木高校を訪問、ユネスコ・スクール認定記念プレート贈呈 （日本ユネスコ協会連盟からの委託を受け永野会長より贈呈） ・2017年度関東ブロック・ユネスコ活動研究会 in 市川 （Peace for Tomorrow 広げよう平和の心）
支援・募金活動	通 年	・日本ユネスコ協会連盟「東日本大震災復興育英募金」への寄金



# 2018年度／事業報告

委員会名	実施月日	事業内容
総会	4月26日(木)	2018年度定期総会(於:港区立生涯学習センター305号)
会員開発委員会	5月17日(火) 6月21日(木) 6月28日(木) 1月24日(木)	・第22回MUAサロン 「Public Mind, Produce Mind, Play Mind 3つのPのマインドで地球上の60カ国に上る人々の国づくりに係ってきました」 話者:松本 洋・当協会相談役(於:事務局) ・新入会員を囲む会・懇親会(於:港区立生涯学習センター303号) ・ルーマニア大使館訪問 ・新年懇親会(於:港区芝:NEC芝倶楽部)
広報・インターネット委員会	6月1日(木) 9月1日(金) 12月1日(土) 3月1日(金)	・和文会報 No.152 ・英文会報 No.151 ・和文会報 No.153 ・英文会報 No.152 ・和文会報 No.154 ・英文会報 No.153 ・和文会報 No.155 ・英文会報 No.154
国際学術文化委員会	6月1日(金) 6月8日(金) 6月25日(月) 9月27日(木) 10月30日(火) 1月22日(金)	・ミンダナオ子ども図書館 公演と子供たちの踊り (於:港区立生涯学習センター305号) ・シンポジウム(於:港区生涯学習センター305号) 「危機のユネスコ世界遺産」 基調講演:五十嵐敬喜(法政大学名誉教授) パネリスト:東郷 和彦氏(元駐オランダ大使・当協会理事) パネリスト:佐藤 弘弥氏(フォトジャーナリスト) コーディネーター:永野博(当協会 会長) ・坐禅体験講座(於:青松寺) ・第1回国際理解講演会(於:港区立生涯学習センター305号) 「スロヴェニアのカルスト地方:歴史・文化・日本との関係」 講師:ボシティアンベルタラニチュ氏(城西大学 准教授) ・第2回国際理解講演会(於:港区立生涯学習センター305号) 「音とホール音響のお話:一響きとは何か」 講師:中島 章博氏(指揮者・作曲家) ・第3回国際理解講演会(於:港区立生涯学習センター101号) 「海外を笑わせた落語」 講師:鹿鳴家 栄楽氏
語学研修委員会	4/4~6/27 7/4~9/26 10/3~12/26 1/9~3/27 4/11~6/20 7/4~9/19 10/3~12/12 1/9~3/13	・初級英会話講座(水):マーク・マードック先生 春期コース 12回 同上 同上 夏期コース 12回 同上 同上 秋期コース 12回 同上 同上 冬期コース 12回 会場:港区立麻布区民センター 時間18:30~20:30 ・初中級英語講座(水):笠原 三郎先生 春期コース 10回 同上 同上 夏期コース 10回 同上 同上 秋期コース 10回 同上 同上 冬期コース 10回 会場:港区立生涯学習センター3階事務局 時間18:30~20:30

委員会名	実施月日	事業内容
世界の料理委員会	11月24日(土)	世界の味文化紹介シリーズ（於：リーブラ料理室） ・『コロンビアの家庭料理』講師 降旗 カミーラさん
文化体験教室委員会	6月16日(土) 10月14日(日) 12月1日(土) 12月8日(土) 1月26日(土) 6月～3月 (第4月曜)	・「ゆかた着付け体験教室」（於：港区立生涯学習センター203号） ・「出雲の民話と安来節の踊り体験」（於：港区立生涯学習センター101号室） 講師：一字川 普さん（踊り）、多々納テル子さん（民話の語り） ・「日本語スピーチコンテスト」（於：港区立生涯学習センター101号室） ・「書道体験教室」（於：港区立生涯学習センター304号） 講師：金田 翠夢さん ・「茶の湯体験教室」（於：港区立生涯学習センター203号） 講師：松村 宗幸さん ・「茶の湯入門講座」（於：港区立生涯学習センター203号） 講師：小野 宗恵さん
ユース委員会	12月16日(日)	・「芝浦の歴史と麻布十番運河巡り」（於：東京海洋大学白鷹館講義室） 講師：佐々木 剛氏(東京海洋大学教授) 講義、水の実験、運河巡り 東京海洋大学学生・慶應大学ユネスコクラブ・港区小/中/高/大学生対象
みなと区民まつり 特別委員会	10月/7日(土)	・第36回みなと区民まつり（芝公園一帯）。「みんなの広場」にテント設営して、当協会の活動をパネル展示で紹介。PR活動とともに新規会員獲得活動を展開。 ・ミニチャリティーバザーを実施。
事務局	10月19日(金)	・第18回フェスティバル～ん（於：港区立生涯学習センター） 開会式にて活動をPR。3階フロアにパネル展示で諸活動を紹介するとともに訪問者に口頭説明を行った。
他団体への協力	6月19日(火) 9月8日(土) ～9日(日)	・都立三田高校ユネスコ委員会メンバー事務局訪問 「ユネスコ活動と、戦争と平和について考える」（生徒32名、先生2名） ・2018年度関東ブロック・ユネスコ活動研究会in茨城
支援・募金活動	通年 7月27日 9月28日	・日本ユネスコ協会連盟「東日本大震災復興育英募金」への寄金 ・平成30年7月豪雨 お見舞金 ・平成30年北海道胆振東部地震 お見舞金

# 2019年度／事業報告

委員会名	実施月日	事業内容
総会	4月24日(水)	・2019年度定期総会（於：港区立生涯学習センター304号）
会員開発委員会	6月14日(金) 7月16日(火) 12月17日(木) 1月23日(木)	・新入会員を囲む会・懇親会 （於：港区立生涯学習センター305号室およびMUA事務局） ・中国大使館訪問 ・第23回MUAサロン 話者：森村 俊介氏 当協会理事（於：事務局） ・新年懇親会（於：港区芝：NEC芝倶楽部）
広報・インターネット委員会	6月1日(木) 9月1日(金) 12月1日(土) 3月1日(金)	・和文会報 No.156 ・英文会報 No.155 ・和文会報 No.157 ・英文会報 No.156 ・和文会報 No.158 ・英文会報 No.157 ・和文会報 No.159 ・英文会報 No.158
国際学術文化委員会	6月21日(金) 9月12日(木) 12月6日(金)	・第1回国際理解講演会（於：港区立生涯学習センター305号） 「縄文の美を楽しむ」 講師：品川 欣也氏(東京国立博物館 考古室長) ・第2回国際理解講演会（於：港区立生涯学習センター305号） 「ルーマニアの風土が育むクラシック音楽」 講師：嶋田 和子氏(ルーマニア音楽協会・理事長) ・平和を考えるシリーズ第1回シンポジウム （於：港区生涯学習センター101号室） 気候変動についてできること—SDGsのための学びとアクション— 基調講演：永田 佳之氏 パネルセッション：保坂 直紀氏 岡田 英里氏
語学研修委員会	4/3～6/19 7/3～9/25 10/2～12/2 1/8～3/25  4/10～6/19 7/3～9/18 10/2～12/11 1/8～3/11	・初級英会話講座(水)：マーク・マードック先生 春期コース 12回 同上 同上 夏期コース 10回 同上 同上 秋期コース 12回 同上 同上 冬期コース 8回 ※3月/4回はコロナウイルス感染防止の為休講 会場：港区立麻布区民センター 時間18：30～20：30  ・中級英語講座(水)：笠原 三郎先生 春期コース 10回 同上 同上 夏期コース 10回 同上 同上 秋期コース 10回 同上 同上 冬期コース 10回 ※3月/4回はコロナウイルス感染防止の為休講 会場：港区立生涯学習センター3階事務局 時間18:30～20:30
世界の料理委員会	7月20日(土) 1月26日(土)	世界の味文化紹介シリーズ（於：リーブラ料理室） ・『モンゴル家庭料理』講師：バトヌヘ・ウスヌレビクさん ：シレンデブ・オユンエルデネさん ・『イタリア家庭料理』講師：須田 祐司さん
文化体験教室委員会	6月19日(土) 12月7日(土)	・「ゆかた着付け体験教室」（於：港区立生涯学習センター203号） ・「書道体験教室」（於：港区立生涯学習センター304号） 講師：金田 翠夢さん

委員会名	実施月日	事業内容
文化体験教室委員会	1月25日(土) 5月～2月 (第4月曜) 2月25日(火) 3月14日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「茶の湯体験教室」(於:港区立生涯学習センター203号) 講師:松村 宗幸さん</li> <li>・「茶の湯入門講座」(於:港区立生涯学習センター203号) 講師:小野 宗恵さん</li> <li>・「おもてなし講座」(於:港ユネスコ協会事務局) 講師:笠原 正子さん</li> <li>・「盆石の実演と体験」(於:港区立生涯学習センター205号) 講師:水野 賀弥乃さん・窪田麻里さん ※新型コロナウイルス拡大防止のために中止→「おもてなし講座へ事業変更」</li> </ul>
坐禅体験委員会	2月27日(木)	・「坐禅体験講座」(於:萬年山 青松寺)
日本語スピーチ コンテスト委員会	12月16日(日)	・第3回「日本語スピーチコンテスト」 (於:港区立生涯学習センター101号室)
ユース委員会	10月20(日)	・小型船とバスで東京探訪!「東京の森川海を知る」 (於:東京海洋大学白鷹館講義室) 講師:佐々木 剛氏(東京海洋大学教授) 講義、水の実験、運河巡り 東京海洋大学学生・慶應大学ユネスコクラブ・港区小/中/高 /大学生対象
みなと区民まつり 特別委員会	10月12日(土) ～13(日)	・第37回みなと区民まつり(芝公園一帯) 台風のため中止
事務局	10月18日(金)	・第18回フェスティバル～ん(於:港区立生涯学習センター) 開会式にて活動をPR。3階フロアにパネル展示で諸活動を紹介 するとともに訪問者に口頭説明を行った。
他団体への協力	6月20日(木)  10月5日(土) ～6(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都立三田高校ユネスコ委員会メンバー事務局訪問 清水 軍治氏「ユネスコ活動と、戦争と平和について考える」 (生徒28名、先生1名)</li> <li>・2019年度関東ブロック・ユネスコ活動研究会in埼玉</li> </ul>
支援・募金活動	通年 3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本ユネスコ協会連盟「東日本大震災復興育英募金」への寄金</li> <li>・首里城復興 支援金</li> </ul>



# 2020年度／事業報告

委員会名	実施月日	事業内容
総会	4月24日(水)	・2020年4月総会(書面表決)
広報・インターネット委員会	6月1日(月) 9月1日(火) 12月1日(火) 3月1日(月)	・和文会報 No.160 ・英文会報 No.159 ・和文会報 No.161 ・英文会報 No.160 ・和文会報 No.162 ・英文会報 No.161 ・和文会報 No.163 ・英文会報 No.162
語学研修委員会	通年	日本語教室 10月開講(毎週土曜日) 講師:田川 純子氏
国際学術文化委員会	10月15日(木) 12月6日(金) 3月5日(金)	・第1回国際理解講演会(於:リーブラホール) 「古代ギリシャの歴史と神話と世界遺産」 講師:友野智子氏(世界遺産アカデミー認定講師) ・シンポジウム「魅力ある海を次世代につなぐため」 (於:国際文化会館) 基調講演:道田豊氏(東京大学大気海洋研究所教授) パネルセッション:マヌエラ・ハルトヴィッヒ氏、佐々木剛氏 ・第2回国際理解講演会(於:国際文化会館) 「イタリアの建築文化」 講師:倉林 公夫氏(元国土交通省土地・水資源局長)
世界の料理委員会	9月27日(日)	世界の味文化紹介シリーズ(於:リーブラ料理室) ・『薬膳料理』 講師 山口 由美子氏(「マンダリンキッチン」主催)、本田淑子氏
日本語スピーチコンテスト委員会	12月13日(日)	・第四回「日本語スピーチコンテスト」 (於:リーブラホール)
文化体験教室委員会	11月21日(土) 12月5日(土) 3月6日(土) 3月14日(日)	・「盆石」(於:港区立生涯学習センター305号) 講師:水野 賀弥乃氏 ・「書道体験教室」(於:港区立生涯学習センター304号) 講師:金田 翠夢氏 ・「風呂敷包み体験講座」(於:港区立生涯学習センター305号) 講師:大工原 智子氏 ・「盆栽」(於:港区立生涯学習センター304号) 講師:山崎 智恵氏
ユース委員会	1月31日(日)	・クルーズ船で東京探訪!「東京の森川海を知る」 (於:クルーズ船内、竹芝地区船着場) 講師:佐々木 剛氏(東京海洋大学教授) 講義、東京湾・運河巡り 東京海洋大学学生・港区小/中/高/大学生対象
事務局	10月7日(木)～	・サークル発表会に参加。 3階フロアにパネル展示による協会活動の紹介を行った。
支援・募金活動	通年 3月	・日本ユネスコ協会連盟「東日本大震災復興育英募金」への寄付金 ・首里城復興支援金

# 会報「巻頭言」リスト

暦年	執筆者	題名
(2012年) 第127号 第128号 第129号 第130号	原不二子 坪谷郁子 長門芳子 今井孝子	(無題) 未来を担う子どもたちにできること 子育てで一番大切なこと 港ユネスコとの出会い—私の活動の原点— 夢の実現に向かって
(2013年) 第131号 第132号 第133号 第134号	菊地賢介 山田攝子 永野博 見上良也	オーストリア・グラーツに今も残る日本の芸術文化 活動に復帰して 心に刻む言葉 三無主義を考える
(2014年) 第135号 第136号 第137号 第138号	永井美智子 三輪公忠 中前由紀 木曾巧	国連大学について 歴史の運行を支えている時代精神は小説に学ぶ 百聞は一見にしかず ユネスコ精神と「持続可能な社会」の構築
(2015年) 第139号 第140号 第141号 第142号	友金守 峰尾茂克 清水軍治 鈴木明美	忘れえぬ一夜 in サウジアラビア 価値観の多様化と共生 あの頃、この頃 港ユネスコ、人との出会い
(2016年) 第143号 第144号 第145号 第146号	三輪恵美子 永野博 森村俊介 宮下ゆかり	港区と私 新任のご挨拶 北極点への旅 文化財はなぜ大切な？
(2017年) 第147号 第148号 第149号 第150号	奥村和子 永野博 渡部俊子 小林敬幸	私のささやかな国際交流 SDGs (持続可能な開発目標) の実現へむけて 「会津」から港ユネスコへの思い 「世界遺産」とは
(2018年) 第151号 第152号 第153号 第154号	三輪公忠 平方一代 松崎加寿子 磯部豊子	日本のテロリズム、アメリカのテロリズム、 そしてテロリズムの戦争と世界平和 私の旅のスタイル「温泉と神社めぐり」 八月に思ったこと モンゴル国バヤンウィルギー県サグサイ村に旅して
(2019年) 第155号 第156号 第157号 第158号	三輪公忠 三輪公忠 永野博 三輪公忠	特攻兵士の死とノーベル賞作家川端康成 メキシコ大学院大学の思い出 政治の動きに惑わされずにユネスコ精神を語り継いでいこう 中国企業が輸出する監視システム
(2020年) 第159号 第160号 第161号 第162号	永野博 菊地賢介 永野博 永野博	「平和を考えるシリーズ」が目ざすもの 大切にしたい日本人の細やかな感性 新型コロナウイルス感染症により明らかになった今とこれから ユネスコ活動でアフターコロナの社会を構想しよう
(2021年) 第163号 第164号 第165号 第166号	永野博 永野博 永野博 永野博	ユネスコと海 日本のユネスコ加盟70周年にあたって 新型コロナウイルス感染症を克服して向かう先は？ 日本の良さを失うことなく、出る杭を伸ばす社会を作ろう！

注：上記巻頭言の本文については和英共、MUA website内に設けた「創立40周年記念MUA会報 巻頭言の履歴」をご覧ください。

# 2011年度～2021年度／役員推移表 (五十音順)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
名誉会長	三輪公忠	三輪公忠	三輪公忠	三輪公忠	三輪公忠
会長	高井光子	高井光子	高井光子	高井光子	高井光子
副会長	William Auckerman 清水軍治 棚橋征一 中川統夫 松本 洋	William Auckerman 棚橋征一 中川統夫 松本 洋 (新)今村孝子	William Auckerman 今村孝子 棚橋征一 (新)永野博 松本 洋	永野 博 松本 洋	永野 博 松本 洋
理事	加固寛子 塩尻 宏 鈴木明美 坪谷N.郁子 東郷和彦 長門芳子 原不二子 峰尾茂克 三輪恵美子 (新)森村俊介 与謝野馨	加固寛子 塩尻 宏 (新)清水軍治 鈴木明美 坪谷N.郁子 東郷和彦 (新)中前由紀 長門芳子 (新)永野 博 原不二子 峰尾茂克 三輪恵美子 森村俊介 (新)山田攝子 与謝野馨	加固寛子 塩尻 宏 清水軍治 鈴木明美 坪谷N.郁子 東郷和彦 (新)中川統夫 中前由紀 長門芳子 原不二子 峰尾茂克 三輪恵美子 森村俊介 山田攝子	(新)William Auckerman 加固寛子 清水軍治 鈴木明美 坪谷N.郁子 東郷和彦 (新)友金 守 中川統夫 中前由紀 長門芳子 原不二子 峰尾茂克 三輪恵美子 森村俊介 山田攝子	William Auckerman 加固寛子 清水軍治 鈴木明美 坪谷N.郁子 東郷和彦 友金 守 中川統夫 中前由紀 長門芳子 原不二子 峰尾茂克 三輪恵美子 森村俊介 山田攝子
常任理事	秋山雅代 今村孝子 島田和美 友金 守 中前由紀 平方一代 水野 隆 宮下ゆかり 渡部俊子	秋山雅代 (新)奥村和子 友金 守 平方一代 宮下ゆかり 渡部俊子	秋山雅代 奥村和子 友金 守 平方一代 宮下ゆかり 渡部俊子	秋山雅代 (新)今村孝子 奥村和子 (新)棚橋征一 (新)永井美智子 平方一代 宮下ゆかり 渡部俊子	秋山雅代 今村孝子 奥村和子 棚橋征一 永井美智子 平方一代 宮下ゆかり 渡部俊子
監事	菊地賢介 永井美智子	菊地賢介 永井美智子	菊地賢介 永井美智子	(新)青野光裕 菊地賢介	青野光裕 菊地賢介
相談役					木曾 功
顧問	明石 康 清家 篤 武井雅昭 見上良也 武者小路公秀	明石 康 清家 篤 武井雅昭 見上良也 武者小路公秀	明石 康 清家 篤 武井雅昭 見上良也 武者小路公秀	明石 康 清家 篤 武井雅昭 見上良也 武者小路公秀	明石 康 清家 篤 武井雅昭 見上良也 武者小路公秀

2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
三輪公忠	三輪公忠	三輪公忠	三輪公忠	三輪公忠	三輪公忠
(新)永野博	永野 博	永野 博	永野 博	永野 博	永野 博
松本 洋 (新)菊地賢介 (新)奥村和子 (新)宮下ゆかり	菊地賢介 奥村和子 (新)平方一代 宮下ゆかり	菊地賢介 奥村和子 平方一代 宮下ゆかり	菊地賢介 奥村和子 平方一代 宮下ゆかり	菊地賢介 奥村和子 平方一代 宮下ゆかり	(新)田部揆一郎 菊地賢介 奥村和子 平方一代 宮下ゆかり
(新)今村孝子 加固寛子 清水軍治 鈴木明美 坪谷N.郁子 東郷和彦 友金 守 中前由紀 (新)永井美智子 長門芳子 原不二子 峰尾茂克 三輪恵美子 森村俊介 山田攝子 (新)渡部俊子	今村孝子 加固寛子 清水軍治 鈴木明美 坪谷N.郁子 東郷和彦 友金 守 中前由紀 永井美智子 長門芳子 原不二子 峰尾茂克 三輪恵美子 森村俊介 山田攝子	今村孝子 加固寛子 清水軍治 鈴木明美 坪谷N.郁子 東郷和彦 友金 守 中前由紀 永井美智子 長門芳子 原不二子 峰尾茂克 三輪恵美子 森村俊介 山田攝子	今村孝子 清水軍治 鈴木明美 坪谷N.郁子 東郷和彦 友金 守 中前由紀 永井美智子 長門芳子 原不二子 峰尾茂克 三輪恵美子 森村俊介 山田攝子	今村孝子 清水軍治 鈴木明美 坪谷N.郁子 東郷和彦 友金 守 中前由紀 永井美智子 長門芳子 原不二子 峰尾茂克 三輪恵美子 森村俊介 山田攝子	今村孝子 清水軍治 鈴木明美 坪谷N.郁子 東郷和彦 友金 守 中前由紀 永井美智子 長門芳子 原不二子 峰尾茂克 三輪恵美子 森村俊介 山田攝子
秋山雅代 (新)磯部豊子 (新)小林敬幸 棚橋征一 平方一代 (新)松崎加寿子	秋山雅代 磯部豊子 (新)笠原正子 小林敬幸 棚橋征一 松崎加寿子 (新)渡部俊子	秋山雅代 磯部豊子 笠原正子 小林敬幸 棚橋征一 松崎加寿子 渡部俊子	秋山雅代 磯部豊子 笠原正子 小林敬幸 (新)佐藤律子 棚橋征一 松崎加寿子 渡部俊子	秋山雅代 磯部豊子 笠原正子 小林敬幸 佐藤律子 棚橋征一 松崎加寿子 渡部俊子	秋山雅代 磯部豊子 笠原正子 小林敬幸 佐藤律子 (新)田川純子 松崎加寿子 渡部俊子
(新)中川統夫 (新)田部揆一郎	中川統夫 田部揆一郎	中川統夫 田部揆一郎	中川統夫 田部揆一郎	中川統夫 田部揆一郎	中川統夫 (新)棚橋征一
木曾 功 (相談役・理事)高井光子	木曾 功 (相談役・理事)高井光子 (新)松本洋	木曾 功 (相談役・理事)高井光子 松本洋	木曾 功 松本洋	木曾 功 松本 洋	木曾 功 松本 洋
明石 康 清家 篤 武井雅昭 見上良也 武者小路公秀	明石 康 清家 篤 武井雅昭 見上良也 武者小路公秀	明石 康 長谷山彰 武井雅昭 見上陽一郎	明石 康 長谷山彰 武井雅昭 高井光子 見上陽一郎	明石 康 長谷山彰 武井雅昭 高井光子 見上陽一郎	明石 康 (新)伊藤公平 武井雅昭 高井光子 見上陽一郎



# 2021年度／港ユネスコ協会役員 (五十音順)

(役職)	(氏名)	(職名)
会 長	永野 博	科学技術振興機構研究主幹
副会長	奥村和子	
//	菊地賢介	ヒューズ合同会社 社長
//	◎ 田部揆一郎	元三菱油化(現三菱化学)取締役
//	平方一代	元横浜市住宅政策審議会委員
//	宮下ゆかり	
常任理事	秋山雅代	
//	磯部豊子	
//	笠原正子	茶道教室裏千家主管
//	小林敬幸	
//	佐藤律子	
//	◎ 田川純子	
//	松崎加寿子	医 師
//	渡部俊子	さくら着物工房公認講師
理 事	今村孝子	ラテンアメリカ国際交流協会会員
//	清水軍治	港区音楽連盟会長、港区スポーツふれあい文化健康財団理事
//	鈴木明美	
//	坪谷N.郁子	東京インターナショナルスクール理事長
//	東郷和彦	京都産業大学教授・世界問題研究所長、元オランダ駐劄特命全権大使
//	友金 守	元港区社会教育指導員
//	中前由紀	港区議会議員
//	永井美智子	
//	長門芳子	いっくら国際文化交流会会長、宇都宮大学3C基金発起人
//	原不二子	株式会社 ディプロマッツ代表取締役
//	峰尾茂克	株式会社 THE FPコンサルティング代表取締役 一般社団法人 理想の住まいと資金計画支援機構代表理事 産業能率大学客員教授
//	三輪恵美子	
//	森村俊介	森村商事株式会社相談役
//	山田攝子	弁護士
監 事	◎ 棚橋征一	日野・レツドラズ姉妹都市協会副会長
//	中川統夫	公益社団法人 東京青年会議所特別会員
名誉会長	三輪公忠	上智大学名誉教授
相談役	木曾 功	千葉科学大学学長
//	松本 洋	前港ユネスコ協会副会長、(一財)日本国際協力システム顧問
顧 問	明石 康	元国連事務次長、公益社団法人 国際文化会館名誉顧問
//	◎ 伊藤公平	慶應義塾長
//	武井雅昭	港区長
//	高井光子	前港ユネスコ協会会長
//	見上陽一郎	学校法人 東京芸術学園音響芸術専門学校理事長

◎役職変更及び新任。すべての役員・役職の任期は2022年総会まで。



United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization



MINATO

●あしがき

創立40周年にあたり、記念事業を開催し、記念誌を発行することになりました。記念事業としては、2021年11月19日、「地域が育てる自然保護区 ユネスコエコパーク」と題するシンポジウムを開き、SDGsのモデル地域としての「ユネスコエコパーク」について学びました。日本国内に10か所ある「エコパーク」の取り組みを、とりわけ若い方々に知って頂きたいものです。

2021年12月12日に開催された第5回日本語スピーチコンテストでは、40周年にちなみ、「40」に関するクイズが出されて、会場は大いに盛り上がりました。どちらのイベントも、新型コロナ感染への不安が社会を覆う中、消毒や体温測定、定員削減などの対策を取って実現させたものです。

40周年記念誌については、2021年5月の企画

会議から寄稿のお願いを始めました。当初は反応もゆっくりで心配しましたが、最初の期限の8月末あたりから集まりはじめ、年末に向けて順調に集まるようになりました。ご多忙の中、ご協力下さった皆様に心より感謝いたします。頂いた原稿は私から編集責任の棚橋さんにせつせと送り出し、記念誌の骨組みを作って頂きました。

2021年12月には新型コロナ禍が収束するかもと希望を抱いたにもかかわらず、変異したオミクロン株が再び感染を広げつつあります。会員同士の集まりも思うに任せず、まさに逆風の中にある2022年1月現在の港ユネスコ協会ですが、創立41年目からの新たな出発と発展に向けて力強く踏み出していくことを期待しています。

(40周年記念誌 編集担当副会長 宮下ゆかり)

---

編集スタッフ —— 総括：会長 永野 博  
監修：副会長 菊地賢介  
担当：副会長 宮下ゆかり  
編集：監事 棚橋征一  
デザイン・レイアウト：米田嘉明

編集 —— 港ユネスコ協会創立40周年記念誌発行委員会  
発行 —— 港ユネスコ協会 Minato UNESCO Association  
〒105-0004 東京都港区新橋3-16-3  
Tel & Fax：03-3434-2233、Tel：03-3434-2300  
Eメール：m-info@minatounesco.jp  
ホームページ：https://minato-unesco.jp/

発行責任者 —— 永野 博  
発行日 —— 2022年3月31日  
印刷 —— 株式会社きかんし  
本社〒135-0053 東京都江東区辰巳2-8-21  
Tel：03-5534-1234 Fax：03-5534-1235

**A**ssociation **M**inato **U**nesco

● 2011-2021

**40**<sup>th</sup> Anniversary  
**P**ublication

港ユネスコ協会

Minato UNESCO Association  
40th Anniversary  
Publication  
2011~2021

創立  
40  
周年  
記念  
誌